京城日報

（年中無休刊）

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 東田□毅 印刷人 小川三之介 電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

十月二十九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

山東直接交渉 支那要路の意見

山東問題に關しては直ちに日支間に交渉を開始するを以て唯一の解決方法なりとせるは徐總統を始め要路に在る者の一般に認め居れる所にして靳雲鵬氏の如き正式內閣組織の後若し日本にして支那の國情を察し誠意を以て交渉を開始するに於ては責任を以て是れに應ずる決心なりと記者に語りたる由なるが果して然らば日本と支那との交渉は必ずしも困難ならざるべく又支那は陸徴祥氏の歸國を俟つて是れを解決せんとするの意嚮を有し居れりと（北京電報）

佛平和狀態宣言

佛國政府は二十四日より平和狀態となれる旨宣言せり（巴里電報）

靳總理政見發表

新代理總理は正式內閣組織の爲め意思疏通の目的にて二十六日正午より參議院議員を午後七時より衆議院議員を外交部に招待し席上左の政見を發表せり

（一）現狀維持を旨とし經常費及軍費を節約し財政を整理し萬已むを得ざる場合借款する事但し大借款をなさず（二）和議促進に關し誠意和を計るも西南は頗る一致を缺き今次の和議停頓も其の罪茲にあり目下各省に電報し意思疏通に努めつゝあり（三）外交に重きを置き國民一致外に對しなば近く世界の强國たるを得ん

因に新總理同意案は一兩日中に提出さるべしと（北京電報）

正式組閣人選

正式內閣組織に就き安福派の意見としては朱深氏を內務に傅嶽棻氏を教育に据へんとするも新代理總理は吳總監を內務に張志潭氏を教育に朱深氏を交通に曾毓雋氏を國務院秘書長に据へんとする意思あり新氏對安福派の意思尙未だ完全に合致せざるが何れ之等は多少の曲折を經たる上不日決定するに至る可し（北京電報）

勞働委員派遣討議

此程開會されし國務院會議にて米國に開會さるべき萬國勞働會議に派遣すべき委員問題に就き討議ありたるが政府委員には顧維鈞氏に決定せるも勞働者本側の委員任命に就きては全く其方法を見出し難く結局內務農商兩部に於て方法を講ずることゝなれり（北京電報）

東淸鐵道達令實行如何

東淸鐵道廳にては來る十一月一日より旅客及び貨物に關し舊盧布を適用し其の運賃支拂に關しケレンキー紙幣及び西伯利紙幣は啻に哈爾賓のみならず東淸各驛を通じて受付けざることゝなりたる結果右紙幣の大暴落となり市況混亂狀態を呈したるも東淸鐵道問題の事情に鑑みる時は果して東淸が一般の批難攻擊を顧慮する事なく達令を繼續し得るや否や一部の者は之を疑問となし居れり（哈爾賓電報）

增稅增收の要點 海軍充實案と密接關係

增稅及び增收の程度は海軍充實案と密接[illegible]關係あり。海軍充實案の程度は今日の處不明なるもの、如く從つて增稅及び增收の程度等も決定し難き模樣なるが其の內重なる實案が財政當局の意見に基きて決せらるべきか又海軍側の主張を貫徹すべきか或は閣議に於いて兩者の一致點を見出すべきかは[illegible]るものを擧ぐれば如左（東京特電）

第一所得稅の整理 所得に對する課稅方法を改め殊に株式會社に對する現在の所得稅を根本的に改正し其の稅率を加重すると共に配當金にも所得稅を課すべく其の結果積立金を多くして配當を減少せしむることを企つる者續出する虞れあるを以て一面法人の積立金に對しても所得稅を課することゝし又特に注意すべきは所得稅整理案中戰時利得稅の代りに超過所得稅を課する規程を設けたることゝ是れなり。又一千圓以下の所得に對して所得稅を免除する時は所得稅の大減收を來し一方大所得に對して急激なる增加を爲すは困難なる事情あり結局六百圓乃至七百圓の範圍に決定すべし尤も是れも海軍充實案の內容如何に關聯し更に又重役賞與金に對しても課稅せらるべし

第二營業稅整理 營業稅は課稅の方法手續等に關し從來世間にて苦情ある諸點其の他を改正し負擔の公平及び納稅者の便宜を圖り併せて稅制整理を爲さんとするもの、如し

第三酒造稅 現在の淸酒一石二十三圓を三十圓に引上ぐべく若し海軍充實の程度如何に依りては五圓の引上げに止まるやも知れず

第四郵電料金 信書三錢を四錢に葉書一錢五厘を二錢に電信一通二十錢を二十五錢に引上ぐる外各種の特別郵電料金を引上げらるべし

第五 此の外稅源の增加如何は主として海軍充實の稅如何に依り變更せらるべし

田男總督說（臺灣總督）

故明石大將の後任として貴族院議員田健次郎男を臺灣總督に任ずべく二十八日閣議にて決定今明日中親任式を行はせらる可しとの說あり（東京電報）

勞働委員華府著

我勞働委員一行は二十八日無事華盛頓に到著せり（華盛頓電報）

幣原大使著任

幣原駐米大使は二十七日當地に到著せり（紐育電報）

臺米收穫豫想 平年に比し減收

臺灣第二期米收穫豫想は二百二十九萬石にして平年の二百四五十萬石に比し二三十萬石の減收を示せり而して島內消費高は二百萬石其の他餅用十萬石にして是等を控除すれば輸出餘力は僅に十餘萬石に過ぎず尙ほ第一期米作は百五十六萬石にして島外輸出餘力は約三十六萬石なりと（東京電報）

滿鐵消費組合 規則內容

滿鐵會社員消費組合規則は二十九日發表の筈なるが右は松本理事組合長となり支那人傭人を除く以外の全社員を以て組織し一人一口宛醵出し會社にて一人に付三十圓迄の物品を無利息にて貸與し三十圓以上は年八分にて償付くべし消費組合にて販賣する重なる品目は白米石炭食料雜貨吳服家具類にて本部を大連に置き支那派出所特約店を各地に設置き規約は四十一箇條より成り十一月一日より實施すべし而して該組合は近く發表さる、增給と相俟つて滿鐵社員の生活を安定ならしむること疑ひなく從來暴利を貪りつ、ありし滿洲各地の小賣商人は一大打擊を受く可し（大連特電）

古島代議士着連

國民黨代議士古島一雄氏は二十七日午後來連せり（大連特電）

對支借款態度 英國に答ふ政府の方針

借款に英國ビッカース會社と支那政府との間に正式成立したりとの說ありし飛行機借款に關しては夫の兵器供給を見合す可しとの列國申合せの趣旨に違反するものなれば我政府は英國政府に對し同借款の性質及び程度等に就き說明を求めつゝあり其回答如何に依りては列國の對支

借款政策が再び自由競爭狀態に逆戾りするやも測り難く從つて我政府に對する英國政府の回答如何は極めて重大視するを要するものなり英國の此借款に引續き米國に於ても銀行團を代表して渡支したるアボット氏と支那政府との間に米貨二千五百萬弗の新借款成立せりとの說あり、之に就ても未だ確報なきも數箇月以前より周自齊一派が天津に於て米人と借款協議進行中なりしは事實にして就中アボット氏が在支中各種利權を物色し鐵道を始め詳細なる調査をなしたる事實あるを以て米國借款も滿更根據なきことにあらず、此外佛國に於ても

中法銀行より或種の借款を交渉して既に締結を見たる事實あり、借款中止申合せを眞面目に履行せるものは帝國政府のみなるが此等各國が穩密の間に進行しつゝたる借款は何れも政設に流用せらるべきものにて或意味より見れば政治借款とも謂ひ得可きものなり米國政府が自ら新借款團組織を提唱しながら斯る矛盾の行爲をなすに至りたるは一に極東に於ける利權獲得に熱中せる結果なりと見るべく英米佛各國が果して自由借款政策を執るに於ては帝國に於ても既に氣兼ねして傍觀するの必要なきを以て帝國の態度も表明次第新方策に出づべしと思惟せらる（東京）

總督天機奉伺

天皇陛下には廿五日午前十一時分海軍特別大演習地より還幸相成りたるに就き齋藤總督は廿八日午後三時五十分波多野宮內大臣宛▲機奉伺方發電したり

兩殿下天機奉伺

李王殿下並に李堈公殿下には二十五日聖上還幸相成りたるに就き二十八日午後御使を齋藤總督の許に遣はされ天機奉伺方を依賴されたるより總督より波多野宮內大臣宛奏方發電したり

運輸會社近く出願 自動車運輸會社計畫

釘本藤次郎、志岐信太郎、松本勝太郎、古城管堂、天日常次郎、荒井初太郎、苦米地造酒彌、木下榮氏等十三名の發起にて最近資本金一百萬圓の朝鮮自動車運輸株式會社の計畫あり近く發起人の調印終了次第會社設立の出願をなし十二月上旬頃までに株式一部の公募を行ひ年內に會社の創立を見るべき豫定なるが同社の事業は第一期計畫として京城府及びその附近京城仁川間京城春川間京城忠州間に於て貨物自動車乘合自動車を運轉して客貨輸送の業務を營み且つ自動車の販賣部を設け修繕工場を設備し附帶事業として自動車學校を附設せんとするにあり而して同社の主力は貨物の輸送に置き[illegible]的に各地[illegible]の貨物輸送は輸送機關不完全の爲め滯貨頗る多く一般の不利不便[illegible]につきその結滯的狀態を緩和せんとするにある如し又客貨輸送其の他は何れも可及的低廉の料金を以て事業を經營すべきが然もその配當は優に二割以上を擧ぐべき見込み確實なり[illegible]は過般北訪より木下氏之れを獲得し居れる由

郵便規則改正 卅日より施行

郵便規則中改正の件は十月三十日朝鮮總督府官報を以て公布即日より施行さるべきが右改正の要旨は曩に內地に於いて郵便規則の改正行はれたるを以て之れと取扱ひ上の統一を計らむが爲め朝鮮に於ても之が改正を爲したるものなりと

一、郵便規則中改正の件

二、通常郵便物取扱規則中改正の件

正の件

（イ）代金引換郵便物の居宅引換に關し其の請求期間請求を爲し得べき地域引換制限の指定方に制限又は改正を加へ且居宅引換請求書は無料郵便にて差出し得たるを有料に改めたること

（ロ）郵種を內容とする代金引換郵便物の留置期間に特殊取扱方法を設け差出人の利便を計りたること

（ハ）料金徵收上適用すべき同一郵便區の範圍に改正を加へ郵便物留置交付地として指定すべき地域に關し郵便規則中『限兩の地』とあるは實際に適合せざるを以て實際取扱に於ては何等從來と變る所なきも其の字句の妥當ならざる點に於て改正を加へたること等なりとす

陞敍

今回李王職々員に對し左の通り陞級辭令ありたり

陞敍高等官四等 賜二級俸 李王職贊侍 尹[illegible]求

同 事務官 趙東源

陞敍高等官五等 賜二級俸 李王職典祀 閔[illegible]植

同 事務官 李[illegible]昇

陞敍高等官六等 賜三級俸 李王職贊侍 田中德太郎

拓殖協會設立

香川縣の海外移住奬勵の爲め香川縣にては海外移住奬勵機關設立計畫中の所今回愈々縣當局並に縣下有力者を會員とする拓殖協會を設立し東拓會社とも連絡をとり朝鮮移住を奬勵する等にて來る十一月十七日發會式を兼ね殖民思想普及講演會を開催する由東拓會社よりは村上下關出張所長出[illegible]同移住申込數は約百二十戶にして內地各縣中の第五位にありと

財界閑話

財界閑話も輕鐵でもちきりの形となり閑話子も聊さか鐵道かぶれたと自ら恐れてゐるが何と云つても今日は京城財界に於ける人氣の中心は民營鐵道の勃興にあり從つて記者の筆もそこに自然向けたくなる▲平壤順川間の朝鮮興業鐵道と云へば最近許可され而してホン最近出願された五百萬圓の會社だが出願後四五日目にもう許可された▲此の前の日にも東拓樓上でコソ〳〵有力者の協議があり、續いて出願があり、而して直ちに許可となつてゐる。閑話子の疑問な點か此の會社位早く計畫され早く出願され早く許可された會社は朝鮮に未だ聞かない、これらの點に於て興鐵はレコードを破つたと云つてもよからう▲更に株式の募集から拂込み並に贊成株の御希望會社の創立も疾風の如き迅力を以て運むるらしく會社許可後の行程も亦レコードを作るつもりらしい▲それと云ふのも東拓三菱大倉古川並に在鮮有力者を發起人にした故で又松平子を初めその中心となつた發起人の手腕と各方面に對する交渉が凡てないからでもあらう▲此の鐵道は第一期には順川より德川に出で、第三期には德川より平壤にかへり而して平南循環鐵道となすものらしい資本金もドシ〳〵殖やさればならまい▲更に順川に於ける無煙炭保留鑛區の採掘特許を受くる會社も此の會社の關係者で出來るとの說もある

興鐵許可

東拓系大倉古川その他を發起人とし出願中なる資本金五百萬圓の朝鮮興業鐵道株式會社は二十八日關係部局の捺印を終りたるにつき二十九日總督の決裁を受け一兩日中許可あるべしと發起人氏名左の如し

松平直平子、武井宗十郎、牧山耕藏、津田鍛雄、神川仲遊、金甲淳、白完[illegible]、川上常郎、吉田英三郎、有田留治郎、臨道晏、大平總三郎、宮川五郎三郎

北鮮水電說明

拓系を中心として目下河川使用電力使用を當局に出願しある咸鏡南道豐山郡に於ける鴨綠江支流の電水力事業計畫は目下一件[illegible]狀勢は同計畫の進捗を促すに至りしを以て東拓支店の吉田支配人は目下咸南道廳に出張計畫の內容說明をなしつゝあるが右の結果道廳意見の決定により計畫は遠からず何等かの展開を見るに至るべしと期待せらる

製皮會社出願 廿八日

附劉永熙氏等發起人となり朝鮮原料皮革製造及び附帶事業を目的とせる資本金二十萬圓の京城製皮株式會社の設立認可の申請をなしたり

京城倉庫出願 廿八日

附京城任洛鎬氏等發起人となり資本金五十萬圓にて貨物の保管及び之に對する金融を營業とする京城倉庫株式會社の設立認可の申請をなしたり

殖鐵株割當期

殖鐵創立事務所にては各銀行より株式申込書略ぼ出揃ひしを以て來月一日發起人會を開き割當方針を決定し直ちにその通告を發すべき運びとなるべきが割當方法は絕對按分によらざる如く他鐵等の方法も考慮されて居るべく少數申込者をも優遇する模樣なり

仁取營業報告

二十八日附仁川米豆取引所[illegible]三郎氏より大正八年上半期營業報告並に株主名簿、仲買人手數料納付狀況等を共に[illegible]報告せり

鮮銀券日報

十月二十七日の現在左の如し

發行高	一二六、〇四八、二五三
正貨準備	五七、二二〇、〇九〇
保證準備	六八、八二八、一六三

人事消息

▲齋藤支那軍事顧問 二十九日午後十一時南大門驛發吉林に向ふべし

▲宍戶乙彥男 母堂逝去の爲め鄕里山口縣に歸省中のところ二十七日夜歸任

▲工藤京畿道知事 機動演習見學の爲め二十九日永登浦へ出張

▲荒井爵吉氏（元內務省技師） 支那政府の招聘を受け赴任の途次二十九日朝釜山上陸同十一時發鮮滿直通列車にて北行（釜山特電）

▲波野平四郎氏（京城覆審法院判事） 三十日午後七時五十分南大門發列車にて家族同伴歸國の途に就く由

懸賞川柳（廿二） 劍花坊先生選

貧の盜み

貸つたといふは怪しい裏長屋 太平町 弱二郎

夕刊は一部も賣れず出來心 金北 暗氣郎

孝子傳貧の盜みを男泣き 京城 春郎

ぬす人がだん〳〵殖ゆる高い米 大邱 狂遊

盜人母に食はせる爲と云ふ 永登浦 二葉

年老つたおふくろが有る挨拶 平壤 南山子

▲龜井武次郎氏（鑛業家） 來城中の所廿九日夜發東上

其の日その日

◇米國の罷業は益々擴大し來るが如く、大統領の調停も效なく、流石のゴンパース君も匙を投げて產業會議より脫退し、同會も亦閉鎖されたりと報ぜらる。大統領調停の[illegible]、ゴンパース君の脫退は、明かに保守的勞働派の失勢にして急進派勝利なるは明か也。アイ、ダブルユー、ダブルユーの首領フオスターの活動は愈々米國の勞働界を過激化しつゝある者也。國際勞働會議が開會せらるゝや否や疑問となり來れり。

◇勞働者よ聯合せよ、と叫びつゝあるフオスター一流の危險なる事は、露國の過激派と何等異なる所なく。英國の勞働階級の頗る穩健なるに比して米國の比に非ず。此の恐るべき洪水を控へたる[illegible]なるものが、果して幾何の仕事を成し得るかは、各代表の腦味噌を痛むる處なるべし。各國は獨逸を叩き潰して、其代りとして飛んだ獲物を求めしの哉。而して其飛沫の分配が、獨逸膺懲に對して、使用した能率に比例せるは痛快也。

◇米支一億圓の借款成立すと、列國は曩に支那に對しては新借款團成立迄は、一切の單獨借款を中止すべく申合せある筈也。米國の此行動は頗る不可解なるを禁じ得ず。米國は之米國一個の單獨行動にして、政府の關知する所に非ずとの遁辭を以て或は辯疏せんとするやも知れず、然れども吾人も可ならむ。然れども吾人の見る處に於ては、列國間の步調は、最近に至りて著しく亂れ來りしが如く、彼の湖南の大問題となりし對英獨山借款の如き、將又對英飛行機借款の如き、團體拔け驅けの運動に焦る觀あるは、畢竟するに列國が、新借款團組織の前途を悲觀せるが爲めならんのみ。吾人は此の間に處して、帝國が依然として、恐面を表明するの恐に、出さらん事を危む。

◇內地にては愈々不正商人や暴利家主の嚴重取締を斷行すと京城にても此種社會上の取締を勵行せん事を希望す。然り敢て切望する者也。

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎
京城本町一丁目 振替貯金京城一二番 電話二一七番 三二一八五番

觀相
京城永樂町二丁目（交番向横町）
石龍子先生直傳 酒井龍孫

MALTHOID
マルソイド
便利瓦中最優良品たる資證を有し堅牢無比、會社工場の屋根に最も適す
東京麴町有樂町一ノ五（電、本局二一七四二一八）
株式會社 內外興業建築材料部
（支社）大阪、神戶、門司、京城、大連
京城 黃金町二丁目建築材料部 長谷川町一壹六自動車部

皮より強い理想的の
專賣 柳織トランク
其他旅行用具一切
魔法瓶及中瓶取替
京城本町 電話貳五四番 高木旅行用具店

建築 設計 製圖
京城旭町一ノ一七二 相澤工務所 電話一四六五番
△諸材料暴騰の際經濟的建築をなさんとせば是非建築設計を要す尙地方よりの申込に對しては實費出張可仕候

十月卅一日 十一月一日 十一月二日 三日間
メリヤス 帽子類 割引大賣出し
京城日報社代理部

京城電氣會社產 鍊炭 一手販賣
龍山漢江通り八 電話四九番
コールタール
金物商 島田忠作商店

新ストーブ着荷

銑鐵、古銅、屑鐵問屋
有好佐介商店
京城府北米倉町百番地 長電話一五四六番 電略（アリ）又ハ（ア）
和洋古ストーブ在庫品豐富及附屬品あり

京龍吳服商聯合
誓文拂大賣出し
十一月一日二日三日 三日間
（イロハ順）
岩野吳服店 岩見吳服店 橋詰吳服店 富井吳服店 植西吳服店 ますや吳服店 丸一吳服店 丸三吳服店 小林吳服店 圓城吳服店 北川吳服店 三中井吳服店

退却、追撃、逆襲
軍旗を飜へして白兵戰
兩軍相對峙して夜を徹す

於素砂 矢橋特派員

九老二里の遭遇戰が實戰なら東軍はこツぴどく叩き付けられ西軍は勝に誇つて意氣衝天、更に疾風の枯葉を捲くが如く

追撃に移 るのであるが、演習の指導上、反對に『戰況不利なる爲め退却するの止む無き』に至り西軍增加隊として歩兵一大隊は二十九日未明までに仁川與方約五吉間石里附近に到著するの豫定也』との情況を貰つて退却するの止む無きに至つた。『オヤオヤ退却か』『馬鹿々々しいな』と今迄の元氣は何處へやら

急に退却 と聞いて前日來の疲れが出て來る、足を上げるのさへ重さうだつたが、いざとなると再び元氣を出して退却を開始した。右の情報を得た西軍支隊長堀田騎隊長は素砂西方九柴里に退却の決心を爲し歩兵第二中隊騎兵小隊騎兵中隊工兵小隊を後衛として

其の掩護 に依り逐次退却し主力は午後四時辛うじて九柴里の陣地に到著した。東軍支隊長宮塚大佐は敵の退却を見るや猛烈果敢に追撃を續行した。西軍の後衛が稿柳洞西側地區に陣地を占領し主力の退却を掩護しつゝあるを見た東軍前衛は是に對して展開した。

而も砲兵 を猛射せしめた。西軍の後衛は約二中隊機關銃隊と共に極力抵抗したが終に支持する能はず逐次抵抗を試みつゝ新塢峯高地を經て退却した。午後四時東軍の追撃部隊は素砂附近に達した、そして敵が九柴里附近に陣地を占領しあるを見て

敵の左翼 に向つて攻撃を加へた。銃聲砲聲は再び起る、西軍の左翼は僅に一中隊なりしを以て支隊長は豫備隊全部を提げて逆襲に移つた。兩軍共に軍旗を押し立て喊聲を擧げて突撃し茲に再び白兵戰が繰り返された、色鮮かな軍旗は翩飜として翻る兩軍共に志氣

頗る旺盛 少しも疲勞困憊の狀が無い是が實戰なら死屍を踏み越え踏み越え格鬪する處だ、時に奥田統監は命を下して東軍は素砂の線に於て停止せしめ、西軍は九柴里の元の陣地に下らしめた。何れも第一線防禦工事を施し、前方には濃密なる前哨を張り

戰鬪準備 の儘夜を徹する事となつた。日が落ちると風は漸く冷わて來た。枯れた穗漸々として夜闇に白く光る。かくて敵前露營の夜は更けた(二十八日夜十一時)

機動演習畫報 熱心に觀戰する齋藤總督(特派員撮影)

演習雜記
遭遇戰
豆を煎るやうな機關銃

▽明くれば二十八日前日の天氣には打つて變つた絶好の觀戰日和、演習には善い位である、天心より地平線まで皆々として水の如、一點の雲をも認められない、それでも夜明頃は可なり寒く霜が雪の如く足の爪先は可なり痛んだ、午前八時統監部は前進、自分は兩軍遭遇地たる永登浦九老二里の中間と豫想し勝手に判斷して九老二里の高地に向つた

▽途中で審判官宮地騎兵少佐に逢つた『昨日午後五時から一睡もせず倂も朝飯も食ひ外して兵の重燒パンを割愛して貰つて居る處よ』と相變らず元氣な笑ひを見せて居る別れて高地に上ると枯草蕭々と風に戰いて居るが陽はほかほかと温かい砲に陣地には好適の高地である小松が眼も覺むるやうな緑を呈してゐる、遠く鷄犬の聲が聞ゆて、今兩軍が白兵戰を交へるところとは思へない程平和である

▽東軍の騎兵が一騎下を通る敵に射撃でもされたのか或は傳騎か馬の歩度を盛んに延ばしてゐるたまもなく西軍の歩兵が來た、尖兵らしい。自分の立つてゐる高地を占領して敵情を搜索してゐる『オイ上等兵誰か二年兵の確かりしたものを連れて前面の高地を占領して來い背嚢は置いてゐてよし、敵が見たら報告するんだぞ』と尖兵長の中尉さんが双眼鏡を離さない

▽『オイ傳令…』大隊長に報告『吉野中尉は午前八時五十分九老二里の高地に達す、前面の敵情には異狀無し』傳令は是を復唱して汗みどろになつた顔を拭き拭き高地を馳け降りた。

まもなく西軍の騎兵が向かつて左の高地を占領した戰機は追々熟して來る、西軍の前衛の到著に次いで支隊長堀田騎隊長が來る『敵が永登浦の高地に沿みて出したら攻撃前進!』と夫々部署を命令する、機關銃隊も陣地を占領した、砲兵も陣地を占領した、いつでも御座れと許りに騎隊長以下兵卒まで力んでゐる▽戀て砲撃一發!是を合圖に俄かに銃聲機關銃が豆を煎るやうに聞え出した、前面の高地には東軍の姿がちらほら見ゆる、齋藤總督も眼鏡を離さない、戰ひは正に酣はさなつた(九老二里の高地にて小艶生)

苦心する防疫委員
虎疫患者を米櫃の中に
是では何時まで經つても終熄せぬ
改良を要する井戸と厠

虎疫の發生も遂に一萬を突破して二十七日警務局の調査に依ると實に一萬二千七百十二と云ふ數を示して居る略大正五年の内地の『コレラ』患者と同數である何故斯那に多發したかと云ふに之には

種々原因 もあらうが其主なる事は個人衛生思想の缺陥に基づける事は云ふを待たない多くの病舍缺陥と云ふよりも皆無と云つた方が適切かも知れない某地にては患兒を米櫃の中に隱匿して置いて

食事を與 へるために米櫃の中から出したる時に丁度巡回の戸口調査班に發見された、又患者の吐物を素手で拭いて洗ひもせず食事して居つた又患者を隔離病舍に收容さるゝを嫌つて山傳ひに患者を負つて

隣村に逃 げて行つた其他汚染された生水を飲用雜用に供して恐る怪しまざるが如きは一般の狀況である甚だしきに至つては豫防注射は虎疫に罹るを嫌すのだと云つて居る此んな具合だから防疫當事者の苦心は

並大抵 の事では無い兎に角外自衛生と云ふ觀念が無いから充分監視しなければならない故に平素に於て各種の機會に臨んで個人衛生思想を向上せしめて置く事は最も緊要で井戸の改良厠圃の改造、下水の浚渫等も

充分注意 すべきである今度の流行でも患者を多發して居る處は何れも之等の設備に缺けて居る點が多い或る流行地の如きは丁度患者の出た家が邑内を流る所の沿岸に在つて其河で

野菜を洗 つた内地人があると直に罹病したといふ處がある云ふ風に細かい處に亘つて監督して行かなければ今度の樣な戰時狀態になつて取り返しのつかぬ事になる個人衛生思想を向上せしむると云ふことは人に知れない

骨が折れ る兎角衛生の事は平時即ち流行病でも多發しない限りは人が之を重要視しないのでいざ敵の襲來を受ける事になるとどうか平時に於て戰時に應ずる丈の準備をされたいものである云々(某防疫委員談)

寺内伯
容態益良好

寺内伯其の後の容態は二十七日夜來病室に電氣暖爐二個を備へ附けて室内溫度の調節を圖りたれば呼吸急迫のこともなく尿量も增加し食慾進み精神爽快意識亦明瞭なるに至れるが目下時に酸素の吸入を行ひ居れり又胸部及頭部には氷囊を使用し居れるもカンプル注射は過般輕快後一回も使用したることなし二十七日兒玉令孃大磯に來り滯在中なるが附添ひ軍醫正は『容態がよくなつた、何うも一時的の輕快ではない樣です』と語れり(大磯電報)

祝盃を擧げつゝ(二)
京城に凱旋せる佛國勇士
エミール、マルテル氏の戰爭談
十六人の戰死者中五人は朝鮮から出征!

マルテル氏は戰爭の話しをする前に、いろいろの說明材料を記者の前に持ち出して見せた。氣味の惡い拇彈や、戰苦を忘れさせる猶蔭酒用のカツプや、陣地の模樣を物語るいろいろの寫眞や、戰利を誇る巴里の畫帖やら可成り珍らしいものが多い。中には寫眞は氏自ら撮影したものださうだがなかなか佳く撮れて居るのが多い。それでも寫眞に就ての失敗も可成り豐富なものらしく氏自ら

描いた漫畫 に依れば何時も雲の爲めに邪魔されて巧く撮れないことある。巧く撮れないのを雲の罪に歸したところ甚だ意味深長だ。ひよつとしたら寫眞より漫畫の方が巧いものかも知れないテ。一應說明材料を見せてから氏は葉巻と葡萄酒を交るがはる口に當てながら談出た『左樣私共が

歸國の命令 に接したのは宣戰の布告があつてから一週目でした。内地と朝鮮を合せて、即ち日本在任の佛蘭西人として出征したのは約二百人で其中十六人は戰死しました。此の十六人の戰死者中五人は朝鮮から出征した人です。領事館書記のプーロー、大邱のカンネル、京城のドージーキーロー、マンの各氏は

戰場の露と 消わたのでした。私なども幸ひにして負傷もせずに濟んだのですが愈凱旋すると云ふ段になつて神經痛やらリューマチスやらで二箇月程も惱まされました。私は危險區域の前線には僅の間しか居なかつたものですからそれ程危險を感じたことも尠く、例の

毒瓦斯攻め に逢つたことなどもありませんでした。千九百十七年からは米國兵がやつて來たものですから飜譯係りとして米兵に附き切り白耳義戰線の方に居りました。いや米兵のことに就てはいろいろと面白い話材もありますが、マア遠慮して置かなくては…………?』

滿十年記念
昌慶苑開苑
入場者へ繪葉書及び案内書贈呈

李王職昌慶苑にては來る十一月一日は開苑滿十年に相當するより同日の入苑者に限り記念として動物園博物館の繪葉書三枚一組並に案内書を頒布贈與する由尚當日は恰も市場の佳節に當るを以て特に同苑栽培の菊花を陳列し一般の觀覽に供すべしと

モーリー氏の判決
罰金百圓に處せらる
被告直ちに上告す

豫て覆審法院に於て控訴審理中の被告米國宣教師モーリー氏に對する犯人藏匿事件は廿九日午前九時より同院第七號法廷で判決言渡があつた定刻塚原裁判長、寺田陪席判事、西山。山口兩陪席判事、大石通譯官等着席し、塚原裁判長より原判決を取消し罰金百圓に處する旨言渡し大石通譯官是を英譯し被告モーリー氏に傳へる裁判長は更に本控訴判決に不服なれば三日以内に上告の手續を爲すべしと宣するや被告モーリー氏は尤も不滿らしき態度にて直に上告の手續を爲すべき旨を申立て閉廷となつた當日在平壤の米國宣教師モーヘット氏は態々傍聽の爲め入城し外に米國副領事ベック氏其他米國人十餘名の傍聽者があつた、

寛大な判決
某司法官談

モーリー氏の事件の判決があつた相だが原判決を取消し罰金百圓とは寛大なものであらう今度の認定を高等法院で覆へす事は不可能である前の場合は其手續で罪が破られたのであるが今度は此方面に手抜かりもない事なので所詮如何にもなるまい

二千餘名寺に集る
鼻を明した警官隊

二十七日楊州郡榛接面長峴里奉先寺境内に僧侶二百名及び民衆二千名許り集まり李太王殿下の祭祀を執行する由聞き込みたる楊州警察署より京畿道第三部に報告せしかば同三部よりは七名の巡査を自働車にて同地に急行せしむると共に本町署よりも十名の武裝せる警官を自働車に分乘せしめ急行應援せしめたるが同地にては全く李太王殿下の祭祀を修する爲めに斯の如き人出を見たるのみにて他に何等の不穩狀態もなく無事解散したりと

解決す
朝鮮煙草罷業
斷乎たる會社側の處置

朝鮮煙草會社罷業事件の其後は會社側と盟休側と種々交涉を重ねしも盟休側の要求過大にして到底會社側にて容認する能はざるのみならず荏苒日を送るに於ては却て職工全般に亘て其影響の波及せん怖れあるを以て會社は深く決意する處ありて百餘名の盟休職工全部を解傭したる處此斷乎たる處分を受けたる盟休側にては意外の處置に手も足も出ず忽ち結束を解きて重ねて雇傭を申出づる者續出し二十八日には約半數、二十九日には殘餘の全部が復業を申出でたるより會社當事者は主謀者十餘名を除くの外は全部認む可き事とし茲に前日に亘りて紛擾を極めし同社盟休事件も終熄を告ぐるに至れり

既に三百餘鉢
本日午前中の出品申込み
前景氣頗る盛んなる本社の菊花品評會

本社主催の菊花品評會は前景氣頗る盛んで發表の遲かつたに拘はらず出品の申込却々多く二十九日午前中に既に三百餘鉢の出品申込があつた程であるから締切迄には相當の多數に達する見込である、今年は天候の加減で菊の出來が不良なのと時期尚早の爲めに優良種は未だ蕾が一體に固い樣子であるが本社の品評會は汎く京城全市は勿論郡部にまで亘つて大方の愛菊家を網羅したので總ての支障を打破して群妍の爭ふに任せるのは本社の深く滿足とする處で折柄の佳節を祝する濃香馥郁、美しく彩られる本社樓上の美觀は讀者諸君の眼を驚かす事であらう

温習會の初日 獅子の舞臺面

國旗を揭げよ
金谷府尹が鮮人に注意

二十九日午前十時より南大門通より鐘路に至る各町總代を集め來る天長節に於ける國旗揭揚勵行に就き金谷府尹より注意する所ありたり

腕の冴
豫期以上の
人氣の好い藝妓温習會

京城三券番合同秋季第一回温習會初日は昨二十八日午後五時から館内で催された。館内にはサボル、キリン、サクラ三ビールからの裝飾で輝く許りの綺麗さである。三券合同第一回の温習會であるのが

人氣を煽 つたものと見えて八時には早や滿員札止めと云ふ盛況。番組は既報の通り鶴龜(踊)、若菜摘(長唄素囃子)丹前奴(踊)大神(長唄素囃子)栗餅(踊)春秋(長唄素囃子)元祿花見踊(踊)の順で何れも

豫期以上 の美しさと鮮かな伎倆を見せる。曾て京城の藝者は無藝無能と貶されて居たのに奮起し今年の二月から長唄の杵屋正太郎、踊の若柳吉蔵、鳴物の石田幸治郎と云ふ顔觸れの師匠を迎へて各券番何れも熱心に稽古の効あり、大いに見上げたものになつたことは獨り

通がり屋 の言葉ばかりではない。始終見物席から喝采拍手を浴びせかけて居たのに見ても先づ上出來だと言はねばならぬ、兎に角皺の音にも銀扇の閃きにも秋の夜に相應しい情緒が流れ出づだけでも見物を魅するに充分である。尚本日も前日同樣午後五時から開演の筈である。

湯錢は七錢
昨日認可さる

過般京城湯屋組合より湯錢値上申請中の處第三部に於て協議の結果出願の八錢は不當なりとして七錢にて二十八日附許可されたるが三十日所轄警察署より右許可證交附の筈なりと

慶北の虎疫
淸道は終熄し更に甘浦に發生す

慶北淸道郡内の虎列拉は漸く全部の終熄を見たるも廿三日慶州郡陽北郡甘浦里李安權病し檢便の結果二十七日眞正虎列拉と決定し更に同日同地に[illegible]よは疑似コレラとして隔離せられ極力防疫中なれば近く終熄を見るならんも何分同地は漁業地にて是より漁季に入るに及び虎疫發生したる爲め一般に非常に恐慌を感じ居れりと(大邱)

富川の虎疫

京畿道富川郡德積面府島には二十五日林氏(三十)鄭章歷(一九)張氏(三)鄭福順(一九)四名の虎疫患者發生したり又同面白牙島には金聖安(一九)李氏(六三)は二十五日何れも眞正虎疫と確定したり

自轉車泥棒

愛媛縣溫泉郡生れ當時住所不定森蕭(三〇)は九月三十日義州通某が京城郵便局入口に立掛置きしたる自轉車價格四十圓を窃取逃走し尚本月十五日迄に郵便局及び停車場等にて四回同樣の手段にて自轉車五輛價格四百圓を窃取入質し其金は何れも飲食に消費し居たるを本町署の聞知する處となり十六日南大門通を徘徊中同署の手に逮捕されたるが昨二十五日檢事局に送らる

是も酒故

二十七日午後八時三十分頃光熙門外驛前通行電車四十七號が黃金町二丁目三十八番地先を進行中抱川郡一東面四中里三百八十六番地林順泉(三五)がヘベレケに泥醉しながら該電車より飛下りしに過つて打ち倒れ人事不省に陷りたる騷ぎに直ちにセブランス病院に擔ぎ込み應急手當を加へたるが生命危篤なりと

國有林盜伐

府内三浦洞十番地相原惠(三二)は本月中旬頃京畿道保管に係る京城府白岳山國有林より三寸乃至九寸の松木數本を盜伐し之れを三浦洞六番地相市根(二五)に情を打ち明け二十圓に賣却したる事發覺して鍾路署に引致訊問中の處二十七日山林盜伐の廉により檢事局に送らる

同情

『眞に人生の悲慘事』と題する記事の主人公宮川萬藏氏の遺族に同情し其後左の通り寄贈方申込みありたり

金十圓 元町小學校内信愛會
金十圓 高瀬

菊の話(下)
西洋に於ける菊
ドクトル工藤武城氏談

西洋に菊が傳はつたのは百七十年前に葡萄牙のお爺さんが日本から持つて行つて巴里の郊外に移植したのが西洋に於ける菊の起源と傳へられて居ります。最初西洋に傳はつて行つた菊は黃菊であつたと見ゆクリサンテマンと云ふ名は

黃金色の 花と云ふ意味を採つて居るのです。そして此一里に移植された菊は年を逐ふて西洋各國に傳はり近來倫敦などには菊の花市を見るほど盛んに流行して居ります。けれども此の花市に持ち出される菊はアングロサクソン好みの濃艶な色彩と強烈な刺戟を有つたものが多く我々日本人の淡白な嗜好に適する

白菊など は至極尠いのです。そして花も概して大きい切花式が多いやうですが夏の菊市などでは一輪五、留位のは珍らしくありません。夏の菊市と云へば妙に聞ゆますが倫敦あたりでは溫室内で莖や葉を育てた冷却裝置を以て花を咲かせると云ふ風に非常に手數を掛けて

四季菊を 絶やさないやうに心懸けて居ります。兎に角菊は日本の國花と云ふやうな格であり又上皇室の御紋章からが菊花を象つてあるのに見ても菊は日本のシムボルとも云へませう。西洋でも赤菊の本家は支那よりも寧ろ日本のやうに思つて居ります。それから菊に就いてのエピソードも澤山ありますが菊は

古來靈藥 として傳へられたこともあり支那の酈縣に彭祖と云ふ仙人が菊の水を飲んで居た爲めに百三十五の長壽を保つたなどの傳說もあります(完)

運動界

ス軍勝つ

基督教青年會對スタンダード野球試合は廿六日午後二時より龍山新練兵場に於いて舉行六對三にてスタンダード軍の勝利に歸した試合は第八回迄同點であつたので頗る緊張してゐたが第九回でス軍三點を得た爲勝敗は決した兩軍のメンバーは左の如し

スタンダード		青年會	
2	木鶴	3	曾島
5	鈴木	4	渡邊
4	西田	6	前田
1	齋木	1	池木
3	中谷	5	越智
6	篠田	8	松隈
9	松尾	2	佐藤
7	宮田	9	柳澤
8	河野	7	岡

○勅題和歌 東京市麻布區本村町百九番地作歌學會に於ては本年同會員中野章次郎氏入選し且つ建碑の盛典を擧げたるを祝ひ九年度勅題和歌獨作法を問ふく何人にも無代送呈し且つ同和歌は代作、添削、詠進も無料にて取扱ひ目下盛に申込者あり

燈

▲今度寺内伯の薨去が傳へられた時全國から同伯邸へ舞込んだ弔詞は實に六百餘通▲今度誤報が新聞に揭げられると取消し電報が又百餘通、大方のは『フキツナルコトマウシアゲアイスマズ』と云つたやうな意味だつたが▲中にも振つて居るのは某師團長の『モトへ』タツタ三文字のであつたさうだ▲その軍人らしいやり方が面白いと伯邸では愍び話の一に加へて居るそして弔電を打つたり取消したりした人に對しては却つて氣の毒がつてゐるさうな▲工藤道知事は愛菊家の一人だが愈々季節が來たので前任地の平壤から貨車二臺の菊花を取寄せたが却々佳いのがあるさうだ

汽船上陸客

須賀千秋、吉澤榮三、同ゑよ、大福田虎重、同喜惠子、同重人、西東大、馬渡三市、福島篤、宇都上淺吉、松葉信太郎、同こゑ、宮崎、脇久田益男、小島かね、木林一德、秋川治藤、下部金吉、石田貞、岡本ゑ、岡すき、矢部[illegible] 村そゑ、木吹幸一、永島順造、同よし江、同越子、上田[illegible]、同筆、白坂むめ、山崎暇之[illegible]、元木稲子、[illegible]

一箇月に三億五千萬本

[illegible]掌握して居る東亞煙草の一箇月の[illegible]括めて數へると約三億五千萬本決して不況の方ではない最も賣行の好いのはヘルメット朝日等[illegible]

二十九日後場(高持合ひ)

[illegible]

天氣 晴後曇り

[illegible]

臺灣總督臺灣軍司令官陸軍大將正三位勳一等功三級男爵明石元二郎閣下薨去ニ付葬式ノ儀ハ來ル十一月三日臺灣臺北ニ於テ神式ヲ以テ執行可致候間此段謹告仕候

大正八年十月廿六日

葬儀委員長 下村宏

臺灣總督臺灣軍司令官陸軍大將正三位勳一等功三級男爵明石元二郎病氣ノ處養生不相叶二十六日午前六時三十分薨去致候間此段御通知申上候

大正八年十月廿六日

男 明石元長
親族總代 明石直 明石東次郎 山根政治 鈴木雄輔 黒田一弘 男爵 黒田八十雄 金光駿太郎 森部靜夫 月成勳
友人總代 田中義一 安川敬一郎 頭山滿 武谷水城 杉山茂丸

朝鮮總督府遞信局 購買組合指定店 和洋紙 雜貨 販賣 京日代理部

……川村修一、岸本卯太郎、石井とし……同小學年、岡田富……長岡勝太郎……小久保さん、荊井はな子、原田こし、小室千代吉、高倉英太郎、同三兵衛、伊藤語吉、外八人一名二等……一八人々、森田所助、山本勘太郎、め、同さだ、磯部たき、同しま子、とみ、田中たか、江原完一、木原（四五〇名）

第五版

天長節

永登浦の祝賀會

永登浦居住内鮮人官民約五十名は廿七日午後二時より面事務所に會合し來る天長節祝賀會開催の件に就き協議を遂げ五時頃散會したるが祝賀會は當日公立普通學校並に公立尋常高等小學校に於て開催の事に議決し餘興には永登浦普通學校並に公立尋常高等小學校生徒の聯合旗行列の外内鮮人側に別に又各町別に思ひ／＼の餘興を催す事に決定したるを以て各町にては造花の櫻、提灯、國旗を以て全市街を裝飾する外假裝行列其他種々の催しある筈なるが朝鮮人側にては既に協議纏まり京城より妓生數名を招き或る催しを爲し内地人をアッと云はさん計畫中の由なれば當日は非常に賑ふ事ならんと云ふ

馬賊に捕はれてから

亂暴極る拷問

吉林　酒井親輔氏談

（三）

目的地の遼江へは最早一日行程に足らない位四十支里邊の地點に達した支那宿の一軒家（前回記入するのを忘れたが地名は海成店と云ふのである）から十九名の馬賊に拉致せられて約一時間も

森林中を引廻さ

れたと思ふ頃漸く森を拔けた小川の傍にある崩れかけた木把小家に著いた、一同が馬から降りると頭目は樹の傍に腰を掛け部下の一名が書記と云ふ格で其横に筆を執つて座を構へると捕虜になつた我々一行四人を呼び出して再び住所姓名から用件まで最も細密に調べた上我々から沒收した所持品に就ても用途を調べ一々其れを帳面に記入した、自分の所持品は最初手帳を出して暫らく眺めて居たが此んな物は要らないからと返し呉れたが付けてあつた鉛筆は

之は重寶な物だ

と早速自己の鞄の中へ入れて仕舞つた、今度は二本のウイスキーを見付けて之れは何かと尋ねるから日本の酒だと答へたが中々信用せない、頻りに嗅いで居たが其んならお前が一度呑んで見よと云ふから一杯注いで呑んで見せると安心したものか自分も一口呑んだが變な顔付で一寸も旨くない支那の酒と大分違ふ

貴樣も呑で見ろ

と傍らの書記殿に與へたので書記殿も口へ入れたがフム此奴はどうもまづいと呑まないので此樣な酒はお前に遣るぞと之れを亦戻して呉れた其次は退屈凌ぎに買つて行つた支那菓子の箱を取出して此んな旨い物がある、皆の者に分けてやるからと數々頭み一人前に三つ宛分配して非常に喜んで食べた今度は用意の

賣薬を出して其

名前と用途を聞く、之れは固形丸と云つて腹の具合を良くするとか之れはアンチピリンと云ふ風熱さましであるとか一々說明した中に仁丹が出て來るとオ・之れは仁丹だ好い物があつたと喜んで直ぐ藏ひ込んで仕舞つた他の賣薬は一向知られないが

仁丹だけは彼等

馬賊仲間でも餘程知られて居る樣である、それから煙草を持つて居ないかと云ふから朝日一袋出して渡すと之亦大喜びで數も二十本あると聞いて頭目は早速一人に一本宛だと命令を下し何れも割當られた煙草を喫しながら喜色滿面に溢れて居た、此の樣子で見ると彼等仲間では煙草と菓子とは最も不自由で何時もこれに飢て居るらしく思はれる而して總て其の

分配方法の公平

なのには尠からず感心したのであつた、其のうち自分の腕時計より四人の所持金三千數百吊文まで全部記入して漸く取調べの終つた頃は恰度午後の一時頃であつた、それより

食事として唐黍を

蒸かしたものを與れたがヒネた粉で拵へたものと見え何だか苦くて喉へも通らないのを腹が空いては困ると無理から二三片食べ終つた頃再び頭目の指揮の下に約二時間ばかりも南に向つて山より山を追立てられ漸く暮れ方少し前木把の小家に落著くこととなつた、此より先我々同樣拉致せられて來た別に三人組の支那人があつたが此處へ著くと共に其中の一人は早速家の中へ呼び込まれて

非常に毆打され

悲痛な叫び聲を揚げて居たが暫らくして出て來たのを見ると顔は一面に血に染まり歩みも漸くとして非常の虐待を受けた樣であつた他の二人も順次呼込まれ同じ樣に毆打虐待され腕の關節を脱して苦痛を訴へて居るのもあつた、後で聞くと此三人は支那軍隊から

派遣された密偵

であつて遼江の北方鄭家屯？に駐屯の兵士二名が脱走したのを捕へたなら直ちに小隊長に陞進さした上相當の賞金を與へると云ふ懸賞付に下士の一人が自ら進んで引受け從卒と共に一人の案内者を先に百姓風となり脱走兵の捜査に出て來たのを不幸にも此の馬賊隊に捕へられたものであつて三人の口述が一致したる爲め其場は別に事無く濟んだが何れ密偵の事なれば

銃殺は免れまい

との話であつた、其中我々七の捕虜は屋内に入る事を許されたが油臭い晩食が濟んだ後今度は自分等四名が頭目の前に呼び出された、始め地主には人質の償金として奉天大洋票の二萬を提出する事を命じたが自分に幾ら出すが出來るかと聞くから自分としては精々金票の五百圓より出來ないが知人朋友に頼んだら猶五百圓位は金策が付くと考へるから先づ金票の千圓より以上は到底要求に應ずる事は覺束ないと云ふと其樣な事では放還は出來ない此方は十萬圓の金票であるから是非其れ以上都合付けよ其れでなければ

毆るが宜いかと

駄目を押したが自分が確答せないので早速部下に毆れと命を下した、すると三四名の者は天井の梁に自分の縛つてある麻繩の端を懸け腕の痛さが漸く足の爪先で堪へられる位にまでグット吊るし上げ支那服の袴を下して

臀部を露出させ

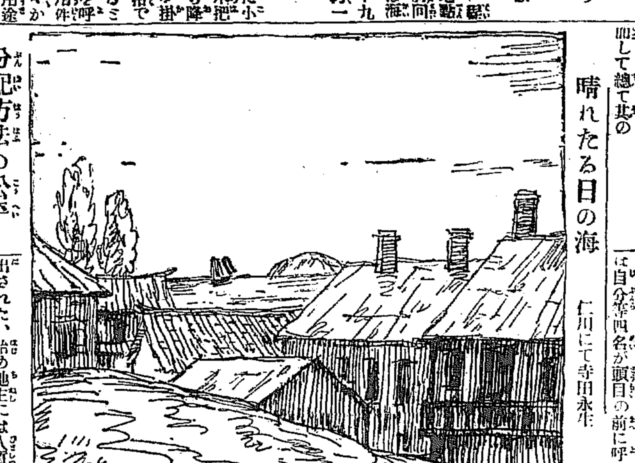
馬を打つ細い革鞭でピシ／＼と毆る其の痛さは全身に響き渡つて實に堪まつたものでないソコで自分は今の處其れより外に目當てはないが一應知己朋友にも手紙を出して出來るだけ相談して見ようと云ひ出したら、そんなら奉天大洋票の二萬元と箱付自働短銃五十挺同じく箱無し短銃四十挺及び銃彈各一千發を至急調達して提出する樣手紙をよこせと先づ此の

毆ると云ふ苦難

からは免れる事が出來たのであつた、然し茲に注意せねばならないと云ふのは馬賊の討伐に依つて人質を奪還しようと云ふのは甚だ容易の事ではなく寧ろ不可と云ふても宜い位である、彼等は諸方面とも聯絡を執り路のない森林中をも巧に歩いて出沒自在である上馬賊に對する

支那兵の力弱く

到底討伐の望みは達しられない樣で何うしても相當の要求を容れて圓滿解決するより外はないのであるそこで手紙を書くにも成るべく彼等の解らない日本名を使ふて此等種々の事情を書添へたのであつた（未完）



晴れたる日の海　仁川にて寺田永生

牡丹臺の紅葉

全山紅に染む

平壤牡丹臺は四時共に遊山の場所として一般人士の普く知れる處であるが目下全山の樹葉紅葉し一層風景を增して毎日遊山の客の絶間がない（平壤）

○學藝會（永登浦）　永登浦公立尋常高等小學校にては三十一日天長節の學式後より學藝會を催す由

素人とバリカン

子供の頭は容易く刈れる

物價騰貴で子供の散髪料まで馬鹿に上つた、近頃市中の家庭では經濟上から子供の散髪はバリカンを買つて成るべく自宅でやる樣にする家庭に一挺のバリカンがあれば何れ程重寶するか知れない或る家庭では男の子ばかり八人ある、此の子供が全部床屋へ往くとなると大分理髪代が嵩むので一挺のバリカンを買つて中學校へ通ふ惣領と母親とで

日曜日毎

に床屋さんになると云ふが、三分刈や一分刈は實に雜作なく出來ると云つて居る、次に髪剃の使ひ方であるが、之れも慣れゝば雜作なく剃れる、日本髪剃は砥石に合せるのが面倒で態々床屋へ頼んで研がせるが日本髪剃よりは寧ろ

西洋剃刀

の方が慣れゝば使ひよい、夫れに一度十分に研がせて置けば後は剃る度に革へ合せれば濟む、之れは砥石に合せるのより餘程樂だ、子供の頭なぞは刈る度に剃らんでもよいし、剃るにしても

左程手數

は要らない、唯夫れよりも髪剃の使ひ方が熟練せぬと斬つたりするが、之れは恂く／＼せずに剃ると直に慣れる、便利で經濟になる事ですから是非試して御覧なさい（京東）

商況

株式

本日内地株式休會

京城現株

標準値段　▲印騰貴　△印下落

銘柄	掛込値	時價
仁取	三六、〇〇	△二七八、〇〇〇
朝郵	二九、〇〇	四二、〇〇〇
電興	一九、〇〇	一八、五〇〇
皮革	二〇、〇〇	二五、五〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇〇
朝紡	一三、五〇	二八、〇〇〇
朝紙	一三、五〇	三七、〇〇〇
商銀	二五、〇〇	五六、五〇〇
同新	一三、五〇	一八、五〇〇
滿毛	一三、五〇	五一、〇〇〇
滿糖	一七、五〇	△四一、〇〇〇
朝煙	二〇、〇〇	三二、〇〇〇
鮮土	一三、五〇	二一、五〇〇
東亞	一二、五〇	四五、五〇〇
莫實	一三、五〇	三三、五〇〇
仁倉	一三、五〇	一五、五〇〇
製粉	一三、四〇	一九、〇〇〇
朝日	一三、五〇	一四、五〇〇
朝綿	一五、〇〇	二三、〇〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
朝鮮紡織	二九、〇〇〇	五五〇
殖灘備利	六、七〇〇	八〇
朝鮮皮革	二五、七〇〇	二五〇
朝鮮煙草	三三、三〇〇	一〇〇
朝鮮製紙	三六、八〇〇	五〇
滿蒙毛織	五二、〇〇〇	一〇〇
殖産銀行	九九、〇〇〇	三五〇
東亞新	四九、〇〇〇	一三〇
滿鐵二新	二九、五〇〇	一〇〇
朝鮮電興	一八、〇〇〇	三二〇
東洋畜産	一五、三〇〇	五〇

當限落後如何

當限納會は大體氣丈の成行きに終了したるが前も期近は格段の不足も將た大商内もなくして鳥渡高かりしに過ぎざるものなるが故に之を以て今後の商狀を律し難きもの〻如し斯くて軟派は中限に比し取組み少く且つ安値なりし十一限に比しては多少の鞘あるも十一月限に對する不況の點よりするも次第の如く且つ十一月限等は既に當中限に比しても安値なるべき性質のものなれば今後は十一限に滑化し始めて居るべき事が測られなきにあらず

問題は中限か

大阪に比して玉整理の困難を思はしめたる東京の硬化は愈々消化力を示せるものと云ふべく此邊にて相場の止まりを見れば玉整理を要する點を悲觀するよりも寧ろ引締るべき消化力に注意する必要あり而して中限は當限以上の大取組にて且つ値段も高く取組したるものなれば若し之が年末資金の需要に接近して此程度の消化力を發揮せんか到底人氣の爆發を見ずには已まざるべく愈玉の整理を來たすこととせば此大取組にあるべく漸く强弱材料も言ひ盡されたる觀ある際中限取組の解決如何が硬軟決戰期となるにあらざるか

上取高の半面

百圓相場實現は不自然を毆られて八十圓臺に落込みたる上取は漸く仕手關係一變して買物增加の傾向を招致したるが尚八十圓臺と云へば途方もなき理窟外れの相場にして到底採算にも何にも合つたものに非ず而して從來の上がり相場に就ては或は策謀の

○株式店開業　井口隆造氏は某鮮人と合資の下に今回公債株式現物問屋を開始し光化門通り李王職美術品製作所横手煉瓦建三階樓に於いて營業する事となれるが同店は主として鮮人側の華客開拓に努むる由なり

株式風聞錄

京城有價證券現物問屋組合が成立してより未だ幾日も經たないのに早くも組合規約違犯者が現はれるやうだが心細い話▲組合員の結束が堅くて組合の信用を增せば增す程それだけ組合員自身の利益になる事である▲組合員全體に有形無形の損害を與ふる如きは不德も亦極まれりと云はねばならぬ▲現株市場出現を前にして折角組合員各自の自重を祈つて置く▲現株市場と云へば此十月末には何とか目鼻が付くだらうとは當局の口吻であつたがモー十一月に足が掛かつたと云ふのに何の音沙汰も無い此頃では又政務總監が東上中だから何れ歸城の上は何とか片付くだらうから年内には間違ひなからうイヤ來春になるだらうイヤ内地の有力筋から競願運動が起つて居るから取引所令設定まで宙ぶらりんさなんて色んな噂を傳へて居るが▲鼻先に鰹節を突き付けられて、お預けに逢つた猫のやうに何日までもイラ／＼させられるよりは一層の事倶樂部樣の者を拵へて組合員各自が日に一回宛でも寄合つて現株の市を建て盛んに賣買をやつて所謂京城相場なるものを拵ちあげては如何なものだ▲さすれば多少はグズ／＼してる當局へも面當てになり痛快ではないか

北濱だより

今度計畫發表せられた北濱信託銀行は資本金五千萬圓百萬株と云ふ日本水力のやうな堂々たる大會社▲其株式割當方法を見ると大株一株に一株上取二株に一株と云ふから此の方で合計三十八萬株▲それに仲買人側に七萬株を割くとアト五十五萬株殘るが此内二十五萬株を東拓に進上し更に殘りの三十萬株から二十萬以内を仲買團に平價で公募を行はしめ滿鐵へも十五萬株數

無標準亂高下

公定市場無き當地現物市場は一般に浮動高下を免れざるが最近の出來値は殊に著しく亂調を呈し殆んど標準なき有樣なり例せば仁取株の如き一方に百八十二圓の手合せあるかと思へば他方には七十六七圓の商内あり常に三圓の開きあり又殖銀の如き内地は早くより九十五六圓の相場なるに當地は依然百圓臺を保合ひ昨日來稍軟弱を呈し九十八圓の商内ありたりと思へば今朝は百圓の買手ある等實に賣買當人の意志に依り商談成立せばそれが即ち相場と見るの外なき狀態なれば一部に安商内ありたりとて一概に株價の下落とも見難くそれと同時に飛離高の値增進したりとて强ち其株の價値增進したりとも見る可からず、殊に朝鮮煙草の如き内地に於ける前者は前日三十八圓五十錢の商内ありしに本日は小一圓安き三十七圓五十錢の前日相場に對し本日は三十三圓三十錢の手合せありたる如き何等異とするに足らざるべし

の樂觀を云ひ一割九分配當說なごが唱へられたる次第なれごも事實に於ては北濱信託銀行の計畫と共に上取二株に對して一株を割當てんとする事の發表ありて成る程と肯かしむる處ありたり之を以て見れば變則の半額增資に等しき事なれば鳥渡一派が仕事を爲すには都合のよき遣り方と云ふを得べきも然も其如何なる處に存するやを透視すれば愈々以て調子に乘る事の危險を感ぜらるゝ次第なりと云ふ

程を買ふて貰ふこなるこ鳥渡株の割當ての分で幾らかを値切ろうとの策段▲其割當數の如何は別としてドウでも宜いが上取や東拓や滿鐵に遣ろうと云ふのは重役陣の策略であるかも知れないから宜い人に上取を重役に持つた株主は仕合せだと云ふ變な笑ひをもらす者がある▲之れもドウでも宜いこして上取の株は變態的の增資を意味するこ云ふが、併し大株以上の桁外れ返買はれたのは別に何か賣買付けたのではないこれを二朱利廻りの八完と日歩を引當てゝ殘り放しで置こうものなら大損であるが島渡りの目面白い商策だ

米況

東京期米特電

◎二十九日前場（反發）

當限寄付　四十一圓八十錢

中限寄付　四十一圓〇五錢

寄付　四一、二〇〇

大阪期米特電

◎二十九日前場

當限寄付　四十四圓二十五錢

同臨時電　四十二圓四十錢

中限寄付　四十二圓四十錢

同臨時電　四十三圓二十九錢

二十九日前場　日後場

	前場	後場
寄付	四二、三九	……
三節	四二、五五	……
臨時	四一、七九	……
止メ	……	……

神戸期米特電

◎廿九日前場　日後場

	前場	後場
寄付	四二、一〇	……
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

仁川期米

二十九日前場（底意强硬）

今朝天候晴天各地入電未著なるも前日阪地の氣乘薄を移して人氣不勢に傾き立會は當出來ざるも中四十三圓二十錢より〻の値りに十錢と弛み先四十二圓四十錢と二十丁安に寄付きしも目先手詰めと月末關係の煎物も邪々現れヂリ／＼高に引締りの商勢を辿り折しも㊀店より鮮人筋の買物現れ續いては力分も好く買ひて五十五錢と蹴上げ三十錢と硬調に引▲第二節　當四十三圓六十錢中二十錢より買方一派の買物に三十錢と蹴上げ軟派の防戰に二十八錢と弛み先四十九錢より各店より好く買ひて五十七錢と上伸したしが㊀の目先利喰いと㊁の賣崩しに四十八錢と下押し五十錢と手堅く引▲第三節　當四十三圓五十錢中四十三圓二十八錢より六錢と弛みしかば先限も五十錢と始めたるが東京の安移りに賣物現はれ四十六錢と下辿りせしが押目は小口の引米多く五十錢と返し四十九錢と持合ひに引▲第四節　當出來不申中二十五錢と頗重く先限又四十五錢と手緩ろく寄付二錢下這ひしが押目は手詰め買に下溢り九錢と返し六鮮と引▲第五節　當四十錢中出來不申先四十二錢と不勢に始めしも小口煎れ買に五錢と引締まり四十五錢を挾合ひに打止めたり

商内薄持合ひ

前日より與面軟弱に傾きたるも底意案外强硬に下げ渋り一高一低の成行きを繰返し且つ大手筋の見送りに月末迄の動機を失したれば小口手仕舞商内に市場は閑散を極めたり殊に今前場は大阪の安報を受け寄付五十七錢を高値として四十錢方を挾合ひ四十五錢にて頗る重く當限の納會に對しても切り放つた相である

仁川期米

四十三圓二十九錢と九十二丁の反落入電を移し買方悲觀賣方樂觀な喜憂もなく前場に引け中限の三圓丁度を移し更に止め高を暗さし

當限半穩納會

今前場を以つて納會を告げたる十月限は新甫四十三圓八十錢に生れ早害人氣を受けて八月二十一日四十四圓七十四錢と爆落を演じ阪地との鞘は一時六百七十丁に擴大せられたるが其後先潤雨模樣ありて人氣一轉反動を惹起し九月十三日には四十一圓二十錢と三百五十丁方の激落を見せ其後正米の强硬と買方の手緩ひに再び本月に入り四十四圓四十錢に盛返し波瀾曲折裡に本日四十三圓四十錢を以て平穩の納會を告げたり

當限受渡し

十月限受渡總高は四千六百石なるが其内譯は渡方㊀二千石㊁一千八百石㊃千四百石㊄千石受方㊀一千石㊁……受渡値段は四十四圓二十錢なり

市場雜觀

意々内地は當限以降から格付範圍の擴張をなし從來鮮米の二百八十丁以下は不合格にして受渡出來ざりしも二百五十丁迄に擴大されたとすれば如何なる粗悪米に付いても供用され得るこ云ふ事にて當市場は勿論▲鮮米の將來には如何なる影響を及ぼして來るか又來る十一月一日より新市は正米より何程の下稍で生れるか尚夫れに對する當市場は何程の鞘開きを以つて生れるが順當かは最も硬軟雙方の問題なる處▲從來の例に視さ居る處なるも從來の例より採算して百丁及至百五十丁位ひ縮少し二百五十丁より三百丁位の鞘開きに生れるを正當の如く唱へる向も有れば矢張り内地建米は同じ事故に四百丁及乃至五百丁の前例に生れるが順當の如く主張する向も多いのである其時の人氣に任する外なきも買方として成可く鞘開きを擴らにして割安の生れを希望して益が遥いこ相變らず期近に廻りて居るも其當の目的として何に買方が相場を張しても此の新米期丈は夏枯れ時分とて遣ひドン／＼と新米が出廻つて來る事になれば値頃は高し金融は警戒されて居るので例へ正米で買掴くにしても一度は氣預けに掛繋ぎを行つて來る爲め採算本意の行遣るを演ずる事が多いこの觀測である▲然し内地の格付擴張は鮮米に對しては結局强材料なる事は一般の豫測らしこして去れば是れ迄期米の受渡しに京阪兩市場を除くの外は餘り供用されし事を聞かざりしも今回格下を廢めたので▲各市場の代用米として吸集される事になり大正八年度の旱害凶作の爲め移輸出力を減少せし鮮米に向つて正米筋意外に買望みを增加されて如何なる粗悪米でも羽が生へて玄海灘を飛ぶ事になりはすまいか又市場が人氣で割安でも叩くと▲受米筋の買方肩代がドン／＼入り込んで來るので人爲的の壓迫は更に出來難いのみならず現在ですら先限の四十二圓四五十錢は買方一派に肩代りを申込んで來て居る事は確實で或は値段の懸隔が接近すれば一萬石位いは協定を見るかも分らんこの說もあるので

京城正米市場

大阪正米は昨報二十錢高を入れしも彼我の鞘は應報の如く甚米に於て二百丁方内外に擴大せられ居れる際とて内地多少の高値も移すとも採算容易に追付かず今後更に内地の大戻しを入るゝか鮮内相場の低落を見るかは疑問なるが内地は正米の反騰ありて懸め居れるに拘はらず正米は依然底意軟弱を脱せず之れ畢竟新米の出廻り期を控へ居れる爲めにして强氣は勿論諸物價この劍迫の暴騰より迫込高を圖る者も思惑の色あり然し暴利令其他政府の施設を見るに雖其中には又稍々の軟材料あり殊に輿論の力は今後政府の微溫的政策を如何に進せしむるや量り難しこの恐怖心を潛める事は又見逃がす可からざる處にして時季の關係値頃の點より今後尚引しき反落は望み難しこするも此上の高値は更に期待難きが如く當市場こしても略同樣の觀測多きこ新米の出廻の見越し内地移出の不採算等にて精米筋は更に進まず賣人は現在の品薄に頑强を維持し居れるも新米出廻り初めんか著しき割高にある丈け今後鮮内より輸入を寄するに至らんこ

大豆は見送り

大豆は昨釜山の移りを受け一段買氣乏しきも手持筋は凶作見越しの先高を見越買腰强く玆新物は手堅く本日午前中は商内皆無なるも唱へは龍山三等古二十四圓五十錢新先物二十五圓五十錢見當なり釜山市場は元來同市場の引返しを報ぜしも現下の採算筋の買氣ありて現下移出値の採算上多少行過ぎの觀あれば之が一段落後軟化すべしこの構へある丈けに眼先内地の高報を見ざるに於ては活氣を呈せざるべし

粟强持合ひ

滿洲粟は底意緩いて强調なるも買人は高値躊躇の模樣にて兎角商談不進捗なり今朝は遼陽現物一車當口現物一車各十八圓替へにて出來せしのみにて新古共に持合ひ氣配を呈せり

仁川正米市場

産地の賣惜みにて更に出廻りなきより自然在米減少を告げ手持筋の賣急がされは警戒の當市場も米に値を呼はれて必需口は邪々買進み來らん振合ひあり今朝は御徳並玄米五百十一叺四十三圓二十錢にて吉田精米所へ平北新玄米二車十一月五日渡し四十六圓にて成澤へ商談行はれ本年の新米は特に望人多きか如し大豆は天安新五十叺平澤物五十叺は共に廿六圓にて商談纏まりたり

釜山正米市場

内地期米前日より軟弱に傾きたるも釜山市場は豫予案外腰强く相場は持合を示し三等神力四十四圓五六十錢にて一千六百叺出來せり又新玄米は邪々出廻り居りて賣行好況を呈し二十九日朝出來値は四十六圓八十錢所にて取引ありたり

大豆新物一千錢高二十六圓十錢にて一千二百叺出來又古大豆は京釜二十三圓四十五錢京義二十四圓所にて商商内なり（二十九日釜山）

鐵材稍々不勢

鐵材一時徐々上向き模樣なりしも市況落付きとなりし以來新規材料に乏しく昨今の人氣は稍々倦怠の色を生じ來れるが如く物によりては幾分相場の下押しを示せり

洋釘一部低落

本品は格別材料あるにあらざるも鐵材市況の不活潑と持品の關係等により玆時によりては五十錢内外の低落を見るに至れり

營業品目錄

海産物、乾物、漬物各種、諸缶詰、漆器、醬油、酒、銘茶、傘、金物、家具、荒物、花蓙、雨、針、細工物、土器、用具、砥、線香、工類、陶器、磁器、洗濯石鹸、鳥、紙類、服類、文具類、石、石油、日鮮向、綿、土管、セメント、コールタール

其他日鮮人向日用品一切

◎蠶繭買入

龍山令組代理店

仁川新町　津田兄弟屋本店　長電話 振替京城

京城明治町二丁目　津田兄弟屋支店　電話 振替京城

黃海道兼二浦　津田兄弟屋出張所

プラトン

インキ

重要記錄に安心して使へる最新式の耐久インキ

萬年筆用　筆記用　證券用

一手販賣元　中山太陽堂　文具部

婦人コウト地

十一月一日より

大賣出

三百着限り

壹着分　拾圓　其他

壹着分　貳拾參圓　二拾七圓　其他

京城南大門通　丁子屋洋服店　電話貳參・貳貳〇・六九〇

結核病者及虛弱者

特效滋養劑

カロピス

■カロピスは醫學士榎本芳二先生創製に係る魚肉蛋白滋養劑にして獨特の香味を有する易消化性の粉末なり。

■カロピスは蛋白質以外尚人體營養に必要なる成分の多量を含有し、食慾催進、血液新生、神經强壯、營養增進の作用頗る顯著なり。

■カロピスは實驗醫家により、結核病者及同疑者、神經衰弱、貧血、胃腸病等の病者並に一般虛弱者に對する滋養强壯食料として最も適當なりとの批判を得たるものなり。

■價格　（二二五瓦入　金壹圓九拾錢）（四五〇瓦入　金參圓五拾五錢）

■カロピス實驗報文集あり御申越次第進呈すべし。

本舖　東京　發賣元

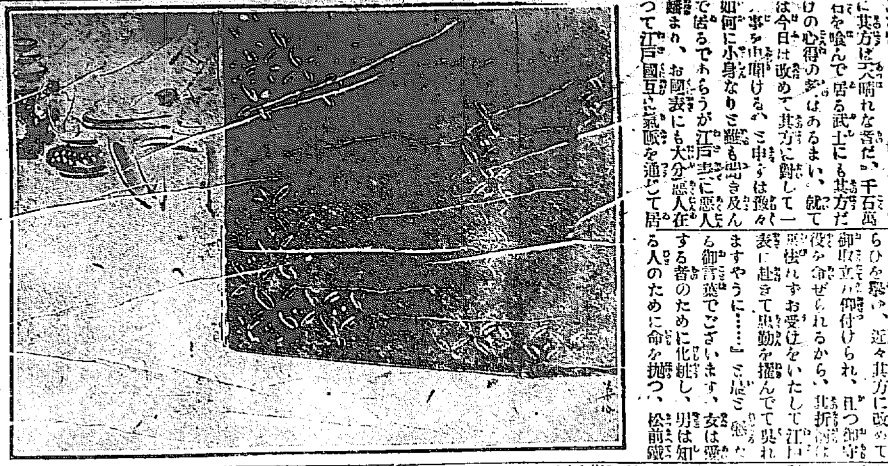
伊達騷動

第四十四席　小金井芦洲講演

鐵之助の立身

鐵「斯く相成る以上は些少千萬にも申譯を致して其の汚名を遁れやうと云ふのは怪しからぬ事でございます、毛頭疚しき覺はございませんけれども不充分ながらお認めの曉には尋常に成敗をお受けやうと存じました次第でございまする」安「左樣か、イヤ實に其方は天晴れな者だ、千石萬石を喰んで居る武士にも其方だけの心得の者はあるまい、就ては今日は改めて其方に對して一事を申聞ける、と申すは追々如何に小身なりとも聞き及んで居るであらうが江戸表に惡人蔓延り、お國表にも大分惡人在つて江戸國互ひに氣脈を通じて居る人のために命を拋つ、松前鐵之助が更に色のために心亂れぬは見上げたものだ、由つて其方へ對して龜千代君御守役を申付ける、就ては源吾右衛門の娘は常々より其方に思ひを寄せ居れど決して浮いた心ではない其方の人物を見込んでのことなれば、斯く申す安藝が媒介を致して取らせるに由つて夫婦の語らひを爲せ、追々其方に改めて役を命ぜられるから、其折には御取立の仰付けられ、乃つて御守役を怯れずお受けをいたして江戸表に赴きて忠勤を擢んで呉れ」と居る御言葉でございます、女は慰ますやうに……」と居る御言葉でございます、……前御館綱宗公は其等の者の惡計に陷り御年二十八歳にして品川袖ヶ崎のお下屋敷に御隱居あらせられ、酷くにして御世繼龜千代君御家督相續、爰に一段落は付いたやうではあるが、未だ惡人共は何にかと惡計を回らして居る、就ては龜千代君の御身の上危きこと累卵のごとし、一身を拋つて御家のために盡す人、御傍らには眞岡の櫃主、日河源母殿の役家の淺岡あり、されど亡「人愛に男お守役がなくては成らぬ」が是れが亦容易の者に勤まるべきものではない、先達より是れには心を苦しめ、彼れか是れかと人選したが偕て、大藩の伊達家、人多き人の中にも人無き、人こそ無れ人、其中で予が目を注けたのは其方だ、先殺來夫れとなく試したが何しやらして居から今日まで照が其方に懇想いたして居つたのを幸ひ媒妁を付け

鐵之助は兩手を突いて頭を下げ、ボロ／＼と涙を流して居りましたが暫くの間と云ふものは聲も出なかつた、稍あつて鐵「アー恐れ入りました、私如き數にも足らぬ輕輩の者を左までに思召し下し置かれる段誠に有難う存じまする、斯く仰を蒙りました上は不束なれどお鑑識に背かぬやう一身を擲ちのことして御奉公を仕りまする」安「オ、夫で安心をいたした」安藝殿は大層お喜びになつて改めまして爰に源吾右衛門をお招きになり懇なるお言葉があつて娘の照の式を擧げた、處へ青葉山城中より鐵之助に對しましてお呼出し、お役の間と云ふのへ出仕仰付けられた、諸役人列座の前にて甲斐「松前鐵之助、其方長らくの間御奉公振り、格別に御滿足に思召され今日より御目見得以上に取立て百石を下し置かる、難有くお受けを致せッ」鐵「ハ、ツ、恐れ入り奉りまする」お受けをして次ぎ下つて休息をして居ると云ふ間もなく鬼贓の間といふのへ出仕仰付けられ、呼出しになつて更に又百石の御加增、下つて休息して居ると三日にお呼出しになつたのが奥の間、爰でまた三百石の加增、都合五百石となつた、四度目に呼出されたお座敷を見ると正面には老中石川駿河を初めとして四十八職の方々列座の所で改めて三百石の加増仰付けられて八百石の御墨付を拜領をして、唯モウ夢ではないかと呆れ驚いて居るばかり、安藝殿高らかに安「鐵之助、這度若殿其方の精忠を御感遊ばされ斯の如く御加増仰付けられた、就ては江戸表に出府致し幼君の御守護仰付けらる、謹んで御受けを致せ」鐵「ハ、ツ……」



皮徽科　(診察夜九時迄)　皮膚病　黴毒病　(入院隨意)　京城明治町二丁目　佐藤醫院　電話一參七

外科　皮徽科專門　扇山醫院　京城太平通二丁目　電話二五八番

タオル　手拭　タオル一手販賣　京城若草町四〇　卸商　上月商店　電話一〇二五番　振替京城五三一番

京城明治町　産科婦人科　中央婦人病院　院長　衣笠舜山　(電話三四〇)

主婦の手帳から

◇松茸の大根おろし甘酢◇　松茸を洗ひ石づちを取り金串又は竹串にさして由面を火にあぶり火が通つたら串を抜き手早く石づちの方から竪に幾つかにさきそれに酢をかけて置きます◇別に大根を摺り下ろし輕くしぼり酢と醤油と砂糖とを交ぜたものを加へてよくまぜそれに前の松茸を酢からあげ大根おろしにまぜて深皿に入て出します

十月卅一日

(舊九月八日)　金曜日　ひのへたつ　五黄　佛滅　鬼　破

▲五黄　戒愼に戒愼を要する日
▲六白　福運に邂逅ふ樣な日起用
▲七赤　寶を授かる如き日心を正しくして吉運を迎ふべきなり
▲八白　親しみのある日殊に住居の爲榮ゆのする日萬事吉なり
▲九紫　勇ましき日、萬事進むに利あり或は意外なる喜あらん
▲一白　翫を隔て掻くが如き日
▲二黑　なつかしき氣の雜れる日一切のこと吉なり
▲三碧　感違ひの事ある日なり
▲四綠　店に戒愼を要すべき日

演藝案内

喜樂館　本町一丁目　電話九七番　(替)　米國メトロ會社特別映畫　ジョーンマアイス氏脚色　良心の囁き　全六卷

金藏　六卷

明卅日限　勿見逃　開幕　伊勢音頭　油屋十人斬　大兒漢懺悔談

大正館　正六時開館　浪花館　京城本町　電話二六〇

大正館　櫻井町　電話八七三

奏下阪　全七卷　石井谷藏　大活劇　運命の神　全五卷

職業　特約店募集　豊國商會　大阪天王寺大道一丁目三九一八

クダリはらによし　固腸丸　各府縣藥店の特約店に販賣す

艶姿狂態　美人　寫眞　豐滿なら肉は？(數種)　武拾錢送れ密送す　東京中澁谷一七六　優美堂

釜山商店案内

洋鋼鐵道船舶材料其他工業諸器械附屬品商　角野商店　釜山辨天町

石鹸界之霸王　スマートロン　トーマス　釜山草梁

精選品質本位　青竹直輸入販賣　豐後石炭販賣　海産物肥料商　左官用海草　萬荷受問屋　三谷商店　釜山高島町

サンエス　ウオタマン　萬年ペン　岩瀬寫眞機店　釜山本町一

御問屋　確實　小賣　山形　福屋本店

糖粉、乾物　食料品、煙草　罐詰、雜貨　合名會社　山西

島田糸店　釜山　電話五七八

酒精、燒酎　西貢米碎米　砂糖麥粉　福榮商會　釜山埋立新町

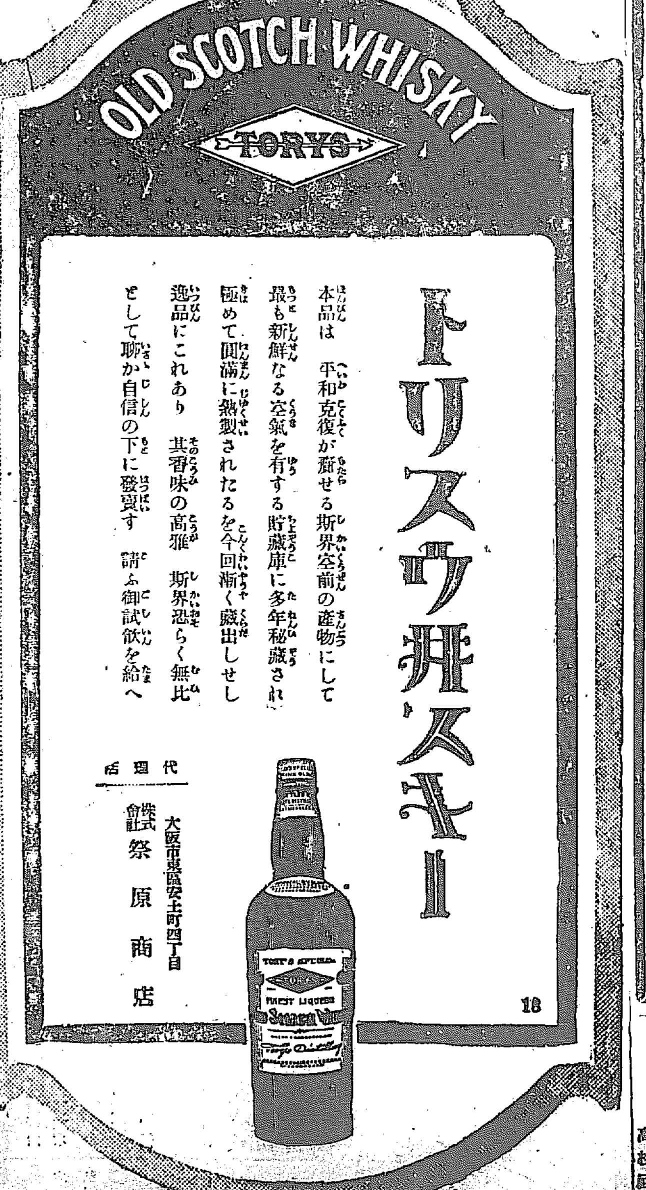
洋酒・罐詰　糖粉・官煙　あづまや商店　釜山　電話三五九番

長岡商店　内外雜貨卸問屋

ライオン歯磨　齒科醫學上の模範齒磨たる

公債株式現物賣買　證券擔保之金融信託　工業藥品理化學器械　滿洲製紙會社特約店　開澄商會　大連仁式同業組合員　滿洲證券現物市場仲買　大連市若狹町一三　電話長一七九八番　振替大連二一〇二番

模範全乳　李王職御用　鐵道病院御用　東亞牧場　大正獸醫學士經營



トリスウ井スキー

本品は　平和克復が齎せる斯界空前の産物にして最も新鮮なる空氣を有する貯藏庫に多年秘藏され極めて圓滿に熟製されたるを今回漸く藏出しせし逸品にこれあり　其香味の高雅　斯界恐らく無比として聊か自信の下に發賣す　請ふ御試飲を給へ

代理店　大阪市東區安土町四丁目　株式會社　祭原商店

お顔剃後に……御洗面後に……

ホンノリ色白くなる

レートフード

◇厭味でない生々した艶ー美くしい元氣のいゝ顔！

男子美の端麗と儀容の爲めに……フードの愛用益々隆ん也。

本舗　平尾賛平商店　東京・大阪

尼崎汽船　仁川出帆　群山木浦下ノ關大阪行

日本郵船出帆　大連天津牛莊行

互光商會　汽船出帆廣告

電話　本町一丁目

内科　小兒科

ユートピア　一名金屬磨液　京城日報社代理部

京城日報

歐洲戰亂に於ける我海軍の作戰行動(十三)

鎭海要港部參謀 矢持大尉講演

過激派が是れに目を著けて軍需品を掠奪しようと狙つて居る形跡があつたので警戒することになつたのである。又同時に英吉利、米利加、佛蘭西、支那も各々一二隻の軍艦を派遣して協同して之の警戒に努めた。けれども浦潮の形勢は其後益々不穩に赴き全く無警察の狀態となつて遂に白晝彼の石戶商會日本人殺害事件を發生するに至つた。茲に於て我が艦隊は四月五日を以て陸戰隊を上陸させて居留民を保護し英米佛支の諸艦も日本の處置に倣つた。六月下旬には浦潮に在つたチェック軍が蹶起して過激派討滅を企て、過激派に屬して居た露國軍艦五隻の武裝を解除せしめたが、尙ほ不安を感じた爲め帝國海軍から驅逐艦四隻を增派し、同年七月過激派暴動の發生するや是れが鎭撫に努めた。同年八月に至ると聯合國の陸軍は共同出兵となつたから海軍の方では陸上の警備は陸軍側へ讓つて陸戰隊を撤退せしめた。又浦潮派遣の帝國軍艦はチェック軍に對して大正七年七月約三十萬の小銃其の他を供給し、其後又我が海軍は必要に應じて彈藥を供給して同軍を援助した。其外西伯利の混亂と共に黑龍江流域も打つちやらかして置けなくなつたから、大正七年八月軍艦阿蘇、千早を始め驅逐艦八隻は黑龍江方面に派遣せられて其の一部分はニコラエフスクを保護し、間もなく香取鹿島兩艦も增援せられた。是に依つて此一帶も稍安全となつたと思ふ間もなく我が西伯利出征陸軍に驅逐せられた過激派や獨墺俘虜の一部が黑龍江を下航して逃げ込んで來た爲め又復物騷になり、遂に九月九日ニコラエフスクに陸戰隊を揚陸するに至つたが陸軍のハバロフスク占領後我が驅逐艦四隻黑龍江を遡江して陸軍と連絡を通じたにより陸戰隊は撤退した。十月下旬以後は沿海州派遣の我が艦隊の大部分は本邦沿岸に行動し、三笠だけ浦潮に止り又臨時海軍派遣隊はハバロフスク方面に駐屯して露國の艦船並に工場等の監視に努めた。

戰利潛艦處分

今や列國間に於て紛擾を醸しつゝある戰利獨逸潛水艦の處分に就ては强硬なる佛國の反對論を除くの外殆んど擊沈說に一致せるも同說たるや十月中に擊沈すべしとするものと十月中は現狀を維持すべしとするもの〻二說あり是れを以て見るに右は十月三十一日と十一月一日との差にて其間僅に一日の相違あるに過ぎざれば該問題は獨國の態度如何に依つて解決を見るに至るべし我國に於ては未だ賛否を明せざるも其の何れに決定するも可なるべし世上或は是れを保管すべしとの說あれど共保管のことゝならば使用に堪へしめんとせば水壓試驗其他萬般の周到なる手續きを要すべく利害關係より見れば擊沈するを以て得策とせんか(海軍省副官小林大佐談=東京支局)

生別死別

=不許無斷興行=

服部硯月

第卅三 秘密の相談

兩人の不思議なる態度に、井上は不審の眉を寄せた、三浦の一家とは從來より親戚も及ばぬ關係でもあり、又亡き父の歿後は知つてる間であつたが、夫人とは嘗て識るべき機會がなかつたのである、併し此時の有樣では、どうしても互に心の奧深く納めた秘密があるらしい。

夫人は漸く我に還つて

『今は御子息樣に隱す必要も御座いません、何もかも打明けて御相談に預りたう御座います、本日大學で豫診をして下すつたのは圖らずも此方にいらッしゃる御子息さんで御座いましたのね』

『さうでしたか、是で却つて好い都合でした』

今日大學病院で要を豫診した學生は井上の息子の謙治であつた。井上の家は從前の俸給で生活して行く位で息子を大學にまで出す程の餘裕がないのであるが併し舊藩主より賜はつた學資を基本として設立した教育會があつて毎年若干の俊才を選定して學資の無い者を養成してる譯、謙治は中學時代に其の選に入つたのである、大學に入つてからも毎年優等の成績を得、目下四年生で來年の秋が其の卒業期である。

謙治に打明けても決して秘密の漏洩する氣遣ひはないとの常太郎の保證で、父と夫人とから交る〳〵重之の病氣の事から目下猶生存してゐる事の大體を話した。

『井上さん、どうしたら可いんでせう、先日主人が見えました時、居所を聞いて置けばよかつたのですけれど居所を聞くこともありませんでしたので、相談する事もなりませず』

『いや全く御同情に堪へません、東京は廣いと申しましても私共から見ますれば狹いものです、一つ明日から探しませう、何れにしましても旦那樣にお眼にかゝつた上でなければ』

『本統に重ね〳〵御心配を掛けまして全く相濟みません』

『いゝえどうしまして、私の苦勞は些とも厭ひませんが、貴女の御心勞を察しますと……して旦那樣は甚麼お姿でしたか』

美代子は口に出し兼ねた。如何に覺悟の上とは云ひながら、判事よ部長よと世人に立てられた身の、今は此間の事、それに日外の姿―今も其の慘めな姿が眼の前に浮ぶ。井上も强て尋ねたくはなけれど、聞かなければ探索の端緒がないのである。

『申し上ぐるもお恥かしう御座いますが、宅に參りました時には盡れ果た姿で致して居りました』

『お召物か何かに眼印でも』

『少し跛を引いて居りました』

夫人は所夫の落ちぶれた姿や、その苦惱を察しては、今はもう堪へ切れず、わつと許りに泣伏した。井上親子も共に涙の目をしばたゝいた。

『奧さん大丈夫です、私が屹度探ねて御相談の出來るやうに致します、兎に角旦那樣にお眼にかゝらなければなりません』

『井上さん、本統にお力に賴むのは貴郞許りです、何故妾共は斯んな不幸なんでせう、妾は寧一層、一思ひに死んだらばと思ひます』

『滅相な、飛んでもない貴女が沒くなられたら二人のお子達はどうおなりです?』

『それを思へば死ぬにも死なれませんのですが、二人の子供と云つても既にもう其一人が』

又も兩眼には露と溢るゝ涙が玉と散る。夫人は泣いて〳〵後々の事まで賴み、漸く街燈に灯の點く頃井上の家を辭した。

晚秋雜興

濟州島 金亥石

千家離落翻斜暉。笳屣遺遙出小扉。紅葉賦詩倚石憩。黃花買醉戴星歸。懲前露冷候蟲苦。樓外風淸旅雁飛。勝事怱々秋亦晚。一年如夢更依々。

同

舒川郡 吳章善

秋窓睡足午天晴。乘興尋常野外行。萬山雲橫鴻路遠。半塘日落鷺鄕明。向風復吸新空氣。與世同忘舊物情。稍增索畦巡一遍。無窮樂在吾生。

婦人勞働號 婦人之友 十一月號

婦人の勤勞…文學士 三宅雪嶺

勞働問題とは何か…安部磯雄

婦人勞働組合を設けよ…田中孝子

職業婦人の出產に關する悲痛なる告白十篇

無理をして朝禮中に卒倒する/職業と子供とに板挾みとなる/會議室に間ゆる我が子の泣き聲/教師をしながら數人の母となる/助產婦自身お產をした時の經驗/同僚に厄介がられるお產の前後/無用の氣兼から取返しのつかぬ禍/必要以外に學校に長居する害/敎員の出產に對する當局の態度/校長から觀た小學女敎員のお產

家庭と八時間勞働制

團體的に働く漁村の娘

生活費の不足を如何にして補ふか

蹂躙せられた處女の誇り

主婦の讀物 幼兒に獨立心を持たせるには/大巾三尺で縫目なしの一身丈/タッチング仕方(三)/女中なしで暮した經驗/洋服を著はじめて/異國料理/衣類整理

長編小說 一絃琴 上司小劍作

短篇小說 渾沌の彼方へ 沖野岩三郎作

歷史物語 橘次兄弟 田中貢太郎

每冊郵稅一錢 東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京壹六〇〇

珍果講義錄

各種栽培法 果樹果菜 東京牛込喜久井町十 大日本園藝會

▲五ヶ年に亘る苦心の大著

即席應用組合せ式 手紙文鑑

今岡意雲

▲どんな手紙でも頭を痛めず即座に思ふ通り書ける新案組立法

▲今迄に類のない新考案

特價 第一冊 八十錢 有教社

正米、期米關係業者に急告

大阪合同通信社

看板はフシノ工舍

サツポロビール專屬工所 京城本町三丁目 電話七三一番

婦人世界 十一月號

再婚事件に付 床次內相と記者との問答

英國婦人に戰後の覺悟を促す…フォルブス夫人

悲嘆より歡喜へ結婚

一身を捧げて兄の病氣

森村翁の臨終

株式店の女外交員として活躍しつゝある林琴子

海豚吠ゆ北千島の旅 德川米子

妻と共に七面山に登る 村井弦齋

家庭小說 愛の力 水野葉舟

探偵小說 秋風怨 大橋青波

滑稽小說 隱れし手 長谷川時雨

長篇小說 靈鐘 小杉天外

東京實業之日本社

滿天下の教育者に檄す

啓明會

朝鮮銀行

資本金 四千萬圓 拂込濟資本金 二千萬圓 積立金 四百貳拾壹萬八千圓

總裁 美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

財產管理事務 財產整理及淸算事務

橋本商事信託事務所 主任 橋本茂雄 京城本町四丁目百十二番地 電話二八二七番

學生募集 京城自動車講習所

▲規則 專科●實習科●校外生科ノ三科ヲ設ク

注意 京城府黃金町二丁目角 振替口座京城七一八八番 電話長二六六〇

丸善ロンドインキ

● 世界改造の宣傳!

我等は、我等人類を幸福ならしむべく勞働問題の解決及社會政策の改善を期す

而して全世界を毒しつゝある恐るべき病毒撲滅の爲の

百毒下し 全き下毒にあり 便通かうり

の速服を宣傳す

本舖 加藤翠松堂 伊勢

▲實務家は如斯ものを要求す

▲完全無缺の萬年筆…………

▲即ちハレー萬年筆

▲二圓以上七圓迄 ▲修理應依賴

京城 熊平支店

木材防腐

ヒシエッチ木材防腐防蟲劑

ヒシエッチ木造船船底塗料

ひしゑっち クレオソート

大日本木材防腐製造株式會社

下關市外濱町平賀通

▲滿鮮代理店 京城南大門通五丁目 中村幸商店

●朝鮮代理店 京城黃金町三丁目 山陽電氣商會

■北鮮代理店 元山府本町三丁目 美島八郎商店

特約店御希望の方は至急御申越被下度候

米國保留案公表

在米出淵代理大使發外務省着電＝米國上院外交委員會は十三箇條の保留案に加ふるに更に民主黨議員リード氏の提案に基き外交委員長ロッヂ氏の起草提出せる左の案を加へ都合十四箇條の保留を一括して二十四日正式に發表せり（東京電報）

合衆國は如何なる事項が其の名譽及び重大利益に影響するものなるかを絶對に自ら決定するの權利を保有す而して斯る事項は本條約の下に之れを仲裁々判又は國際聯盟若しくは聯盟の代理機其の他一切の權力の決定又は勸告に任ざることを宣言す

代表を派遣せず

米國對講和條約委員會

國務省發表に曰く米國は講和條約に依り設置されたる委員會の何れにも代表を參加せしめざる可く又米國軍隊は講和條約に依り提議されたる民意投票の行はるるシレシア其他何れの國の治安取締にも任ぜざるべし（華盛頓電報）

ナウル協約法案通過

上院はナウル協約法案を通過したり右法案は太平洋に於ける赤道以南の舊獨逸群島を濠洲並に新西蘭に與へ赤道以北の群島を日本に與ふる事を規定しあるものなり（メルボルン電報）

鋼鐵罷業下火

米國各地に於ける鋼鐵工罷業は漸次復業しつゝあり（華盛頓電報）

復業人夫を襲撃

紐育に於て復業せる人夫は反對側の爲め銃撃され百餘名負傷せり（紐育電報）

新産業會議召集

米國政府は新産業會議を召集せりと（香港電報）

對勃調印と匈土問題

最高會議未了任務引繼

對勃講和條約に對する勃牙利の申告書は廿四日提出され始めたるを以て講和最高會議は最後の回答を發するに一週間以上十日を要せざるべしと豫期せらる從つて對勃條約は如何に遲くも三週間以内に調印を了るべく右終了次第最高會議を閉ぢ未了の任務を新設の協調委員に引渡すべし然ども最高會議は同會議が直接匈牙利問題を取扱ひ得る程同國の形勢が充分に明かになる以前に散會すべければ協調委員は匈國問題に併せて土耳其問題をも引繼ぐべきこと殆ど既定の事實なり又目下の所土國の情勢混沌たるを以て特に同國に關聯する諸問題を取扱ふため結局全然別個の會議設置の必要を見るに至らん又最高會議は二十三日同會議に提出されたる永久的條約實行の重要なる手段に關する各種の報告研究に忙殺され居たり（巴里電報）

未履行休戰條項

フオッシュ元帥は二十五日未履行の休戰條項に就き報告すべく同時に米國講和委員に依り講和條約の效力を生ずべき時日を確定さるゝならん而して若し米國上院が講和條約を批准せざる以前に同條約實施さるゝに至らば少くも計種の委員會は米國代表委員缺員の儘執務を開始すべし（巴里電報）

獨商船賣渡問題

獨逸に講和條約中商船の處分に關する規定を滯らんとする目的を以て實際か或は名義のみか明白ならざれども其商船を波蘭商人[illegible]に賣渡すのことあるを以て聯國首相[illegible]獨逸講和委員レルスネル氏に通牒を發して聯合國は戰時中獨逸が戰艦を何れの中立國たるを問はず譲渡したることに對し之を承認すること能はざる旨を通告し同時に講和最高會議は獨逸に對し商船五隻の引渡しを要求したり（巴里電報）

アルサスロレーン兩州獨立陰謀　詳報

ストラスブルグ市の佛國警察官はアルサス、ローレンに中立共和國建設を目的とする政治的陰謀行はれつゝあるを發見したり右は獨逸外務省の立案に出で其の方法は最近の秘密集會に於て陳述されたる所に依れば先づ新聞紙上に於て佛國のアルサス、ローレンに對する統治に反對運動を起さしめ一方には獨逸のスパルタカス團と交渉して十一月九日同團に騷擾を起さしめ同時に街上に於て示威運動を行はんとするにありしと（巴里電報）

墺太利國號改稱

大統領講和條約批准

墺國々民議會は二十一日の會議にて墺國の國號を廢し『墺太利共和國』と改稱するに決せり　尚同共和國大統領レンネル氏は廿六日講和條約批准に署名せり（巴里電報）

炭坑夫增給要求

四十一萬の炭坑夫は給料六割增一週三十時間の勞働を要求し事態不穩也（倫敦電報）

露都攻撃再開

エデニーチ軍は再び露都攻撃を開始せり（オムスク電報）

勅語

廿八日觀艦式に賜へる勅語左の如し（東京特電）

朕茲ニ大演習ヲ統裁シ又艦隊ヲ親閲シテ軍容ノ整々士氣ノ旺盛用兵ノ進歩著シキヲ見ル嚢ニ軍令部長ヲシテ統裁セシメタル第一期及第二期ニ於ケル演習ノ成績復頗ル良好克ク作戰ノ要求ニ應シ豫期ノ目的ヲ達シ得タリ惟フニ國軍ノ精鋭ハ軍紀士氣ノ緊張ト武技統帥ノ精妙トニ俟ツコト大ナリ爾等將卒倍々奮勵上下一致シテ各其ノ本分ヲ全フセンコトヲ期セヨ

オ政府選擧法案

オムスク政府選擧法案成立せり（オムスク電報）

米支借欵成立說

酒稅煙草稅等を擔保として二千五百萬弗の米支借欵成立せりとの說あり（北京電報）

交渉遲延

寬城子事件

赤塚總領事病氣の爲め寬城子事件の交渉は多少の遲延を免れざるべし（東京電報）

田男就任

臺灣總督

臺灣總督後任は廿八日の閣議に於て田健治郎男を推薦する事に決し閣議半ばにて田氏の出席を求め同氏の承認を得種々統治上に關し打合すところありたり尚親任式は廿九日午後二時宮中に於て擧行されたり（東京特電）

外交調査會

外交調査會は廿九日午前十一時より首相官邸に開き講和條約に就き協議し正午午餐會を共にし午後引續き協議二時半散會せり（東京特電）

明石男遺骸　門司解纜

明石臺灣總督遺骸告別式は廿九日午前六時半より博多市松本健次郎氏別邸にて神式を以て執行し靈柩車は喪主元長氏親族近親總督府員其他之を護り九時四十二分博多驛發列車にて午後零時十分門司驛着同四時解纜の亞米利加丸にて基隆に向へり此日密雲低く垂れ海波靜かに搖き天亦英靈を弔するに似たり（下關特電）

演習終了饗宴

第二十師團管下の機動演習は二十九日永登浦附近の接戰を最後とし終了を告ぐるを以て淨法寺師團長は午後四時より軍司令部首腦並に官民有志多數を同地永登浦尋常高等小學校內に招待し盛宴を行ひたり

鮮滿片々

元雄航路近況

最近著しく活況を呈せる元山雄基航路の往航は毎航雜貨を以て滿載の狀態にあるも復航は鰯漁期若布の採取期及將に來らむとする明太漁期の外はさのみ殷盛ならず尤も本年の若布採取期には補助帆船多數の就航を見たる爲汽船としての復航は至て寂寥なるべき者なかりしも將に來らむとする明太漁期に入らば復航も亦目覺しき者あらむと（元山）

捕鯨期來る

去る十月一日より捕鯨期に入りたるを以て東洋捕鯨會社は先づ蔚山方面にて捕鯨を開始し既に十數頭を獲たるが此向ならば本年は豐漁なるべく尚大黑山島方面は前年來の實驗にて明年一月以降ならでは事業開始出來ざる可しと（蔚山）

明太漁期到る

咸北漁大津方面に於ては既に約二週間前約三十駄の明太魚水揚を見たるも暖氣のため其の大部分を腐敗せしめたる由今や明太漁季に入れるに際し某當業者の談に依れば例年明太漁期は本月下旬より入るなるが本年は幾分早き氣味あり既に江原道沿岸方面にも相當の群來ありしもの、如く然も其[illegible]べしと（鏡城）

晝間送電開始期

遂安（元山）一般例年に比し多き積雪山に於ける晝間送電は夙に希望されたる處なるが滿鐵分工場に於ても事業擴張の爲め取急ぐ事となり電燈公司は愈々十二月より晝間送電を開始することに決せり正に一進歩と云ふべし（遂安）

鞍山驛擴張計畫

同地將來の發展に對する永久的建物として鞍山驛建設は未だ當局者の間に於ても研究中なるが現在の驛舍頗る狹隘に付き當分の施設として來年度に大增築すべしと（鞍山）

貨車竣成

京管局にて有蓋貨車五十輛中龍山工場にて五輛、草梁分工場にて[illegible]輛竣工を見たりと

赤十字社本部拜賀

三十一日の天長節祝日は赤十字社朝鮮本部に於て例年の通り事務所に兩陛下の御眞影を奉安し午前九時より同十一時迄社員の拜賀を受くる由

利益配當認可

仁川取引所の大正八年上半期利益配當處分の件は本月二十日附を以て總督府に申請中の處二十九日午後認可の通知に接したり

評議員數認可申請

京城商業會議所に於て二十九日午後二時より開かれたる役員會は評議員總數三十名と決し中內鮮人別數を附議したる結果第一級評議員は內地人十三名鮮人二名第二級議員は內地人九名朝鮮人六名と決したるを以て同日附總督府に右評議員認可の申請をなしたり

赤池局長出張

警務局長赤池濃氏は[illegible]各道の警察狀況視察の爲二十八日夜行列車にて出發せるが三十日夜又は三十一日頃歸任の筈

人事消息

▲北條謙吉氏（步兵少佐）廿九日夜上陸同十一時發列車にて北行（釜山特電）
▲廣瀨傳氏（朝鮮郵船會社支店長）廿九日夜入城木浦火へ
▲大村京城商議書記長　戰後世界視察の爲め十一月初旬約二週間の豫定を以て東上の途に就くべし

暴利取締令

朝鮮中央政府が奸商取締の爲め傳家の寶刀として同令に深く鑑みし暴利取締令は四圍の狀況に鑑み愈々本月二十七日より施行されしが東京大阪兩府內の奸商に向つて先づ鞘を拂ひたるが朝鮮にも之が效果の及ぶ可きや如何又總督府當局の意嚮は果して如何に關しては此際一般社會の聽かんと欲する問題なるが右に關し當局者は語る此際暴利取締令は朝鮮には其施行せざる考へなりと云ふも昨年一時奸商等に依りて白米の買占め行はれ一般民心に脅威を與へたりし當時は之を適用せんと決心の臍を極めたりしも遂に之を見ずして止みたり

鮮銀發行增加

朝鮮銀行券の發行高は二十七日の現在に於て一億二千六百萬圓を算し之れを前日に比し五六百萬圓の膨脹を來したるが右は特に目ぼしき發行をなせる支店なきも全鮮各地に於ける穀物買出資金の需要起りしにあり尚唯朝鮮の出穀季は十一月よりにて未だ多くの資金需要を喚起する時期には入らざるも既に準備期に際したりと見るべし

公設市場使命

近く設置さるべき京城府經營の公設市場は目下其筋に於て認可中にして近く認可せらるべきが本計畫の目的は物價調節を計るにあるは勿論なるが之と共に市內に於ける現今の殆ど亂雜極まりなき物價に對し標準相場を示し從來生產者と小賣業者との中間に在りて二重三重に鞘取りをなしつゝありたる弊害を除き廉價なる日用品の供給をなさんとするべく尚ほ其筋にては販賣店に對し地代店賃等の免稅をなすの內議すらあり將來は一町一箇所の公設市場を設置するの希望有りと

東拓米收減少

東拓支店管內に於ける穀收納は最近終了せしがその收納の豫想は二十八萬石見當に留まり前年に比し一割強の減收となる如し尚ほ之の收納は來月上旬より開始の手筈なりと

滿鐵社員增給

十一月一日より實施

滿鐵會社社員增給問題は過般會社長の聲明せる如く豫て本社幹部の間に於て疑議中の處愈々來る十一月一日より實施すべく決定せるが斯れが發表は實施より數日前となるべしと云ふ而して今回は定期增給に非ずして所謂物價騰貴に對する臨時增給なるは勿論にして增給程度は全收入額の三四割なりと

內鮮滿荷物通關取扱規程

今回內地線と朝鮮及び滿洲との間に發着する荷物通關取扱規程制定され荷物の輸移入手續を運輸機關に於て取扱ふ事となれるが（一）稅關所在驛所より發送するもの（二）稅關所在驛（釜山を除く）に到着すべき大貨物にして配達の取扱ひを爲さゞるもの（三）安東驛に發着する小荷物に對する支那輸出入手續（四）荷送人に於て荷物託送の際反對の意志を表示したる場合（五）運輸機關に於いて特に代辦を爲さざる旨公告したるものに就ては右輸移入手續きを爲さざるものなりと

鮮人教員普通學校長任命

一兩日中に發表

齋藤總督水野政務總監の訓示中に聲明せる內鮮人の差別撤廢鮮人官吏の優待を意味する俸給令の改正は既に週日前發表を見たるが朝鮮人教員を普通學校長に任命の件は此處一兩日中に發表せらるべく右は從來と雖も鮮人排除の意味より任命せられざりしには非ざるも新教育令の運用上特殊の經驗を要するより今日に及びたるが同令發布後既に數年を經、最早其差支なき狀態に及びたるを以て今回始めて其任命を見る次第にして今回は取敢ず[illegible]

全道儒林招集

迷夢を破るべく

曾て大聖宗教會の牛耳を執りし入閣師某氏は米國、上海、哈爾賓等の各地を歷巡し親しく在外鮮人の狀態不逞青年徒輩の動靜等を目擊し數日前歸來せるが海外各地浮浪の無頼不逞の徒が徒らに聲を大にして善良なる故國獨立を標榜し假政府を樹て人心を眩惑し金錢物品等を醵出し[illegible]

各道に二三名宛の新任を見るべしとなり

日支聯絡運賃改正

日支聯絡各種鐵道賃金は十一月一日以降各所定の賃金の外增減表に示すもの、十四倍を增徴すべしと

元山貿易設立

元山貿易株式會社設立の件は豫て金粟治氏外二十七名より出願中の處二十七日附許可ありたり同社は本店を元山府に置き資本金一百萬圓を以て內外國物產貿易委託賣買及び釀酒業其の他の業務を經營するものなりと

府事務規程改正

現行京畿道管內府事務取扱規程は大正四年の制定に係り府事務の現狀は其の制定當時と事情を異にするものあり或は實施の結果に鑑み改正を要する點あり之を改正し二十五日附道訓令を以て發布せり

鐵道學校工程

龍山鐵道構內に新築中の私立京城鐵道學校の工事は目下內外裝瓦葺約九分通りの竣工し本年中に屋根葺終り暖房を取付けこれを以て壁を乾燥せしむる計畫の由なるが同校寄宿舍は明年五月附屬舍は同七月竣工の豫定なり

鳥瞰錄

何時も『よかたい』の福岡縣で不得要領の裡に要領を得て居る野田大塊遞相が其の不得要領振を發揮して頭痛鉢卷の種を蒔いたと云ふ珍談がある▲其れは三千兩の飛行郵便補助金問題であるが此の補助たるや徹頭徹尾野田君一個の例の愛嬌ある私人的腹案であつて何時もの調子で極輕く『さあ三千圓位なら出しても悪くはなからう、も知れんね』の程度であつた▲何もそう確と腹の底に決定のある處を云つたのではなかつた▲處が相手は人一倍機敏な長岡將軍と來て居るから溜らぬ▲早速遞信省は之れ〳〵の補助をする見上げたもんだて聲を大にして天下に觸れ廻つたもんだ▲何にせよ相手が悪い拂し斯うなつて見れば野田君も遞相の手前二十八貫目の大塊の四目狐鼠々々引つ込む事もならぬ▲其處で愈々省議として醜汚い段取りとなる譯だ▲大塊翁か出來んとならば不可でも自腹の段取りとなる譯だ▲これには手の的が外れて『此の』[illegible]なかもんナア

京城府告示第二十一號
來ル十月三十一日天長節祝日ニ付當廳ニ於テ御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時三十分ヨリ同十時三十分ニ至ル間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ
但服裝ハフロックコート若ハ紋付羽織袴トシ朝鮮人ニ在リテハ敬意ヲ失セサル程度ノ朝鮮服ニテ差支ナシ
大正八年十月三十日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充

公告
一、木炭五千貫
右來ル十一月四日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城學校組合

商業登記公告
[illegible]株式會社取締役關大補、在裕、關衛基ハ任期滿了ノ處大正八年拾月拾五日重任シタリ
新設　商號　商南紙物商會
營業ノ種類　東西洋紙物販賣
所在地　京城府南大門通五丁目弐拾六番地
商號使用者ノ氏名住所　同所[illegible]
右大正八年拾月弐拾弐日登記
[illegible]
右大正八年拾月弐拾四日登記
京城地方法院

商業登記
合資會社永信社ハ移轉ニ因リ大正八年拾月弐拾参日住所ヲ開城郡松都面北本町百壹番地ト變更セリ
右大正八年拾月弐拾七日登記
京城地方法院開城支廳

商業登記
株式會社朝鮮殖產銀行變更及支店設置
株式會社朝鮮殖產銀行ハ總督府持株六千五百九拾八株ヲ除キタル殘株拾九萬參千四百弐株ニ對シ大正八年拾月弐拾四日金拾圓宛拂込ヲ了シ其ノ各株ノ拂込金額ヲ金參拾圓ト變更シタリ
大正八年拾月弐拾五日左ノ所ニ支店ヲ設置シタリ
平安北道江界郡江界面東部洞千弐拾五番地
右大正八年拾月弐拾八日登記
海州地方法院沙里院出張所

京日案內
普通　一回前金（四號活字）一行二十錢增
番外　金壹圓（二十錢増）
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻
▲六回以上の申込は特に割引の事
▲照會は返信料に非されば回答せず

最新刊
戰後の日米　[illegible]
兒玉[illegible]　二、〇〇　〇八
朝鮮法令輯覽追錄　定價四圓　送料三十錢
西洋歷史集　坂本　三、五〇　一八
日本行政法總論　美濃部達吉　五、〇〇　二〇
政治哲學[illegible]　一、八〇　〇八
產業心理學講話　[illegible]　二、五〇　〇八
孟子通義　定價三圓　送料八錢
[illegible]
大阪屋號

▲古本熱心高價買入
▲是非御試賣を乞ふ
▲御報參上　電話三一九五番　本町二丁目　群書堂

▲幹部社員並鮮人部長招聘　廿五歲以上有經驗者限　履歷送レ面會日通知ス　京城元町二ノ八　富士生命保險事務所

女中入用　京城本町一丁目電話四七番　まからんや

社員高給招聘　京城南山町三　京城ホテル前　大正生命京城支部

帳場入用　京城新町二　金清樓

骨つぎ專門　[illegible]

行李革鞄專門　京城本町[illegible]　小柳治療所　タジマヤ

古ミシン高價買入　電話二三八番　楠商店

但馬屋　京城本町二丁目　電話二四八二

春川原州　荷物運搬引越荷物運送　京城東大門內　酒井運送店　電話二〇四八番

ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

自動車　フォード中古車　右至急讓渡す　京城永樂町二　電話二四七　榮洋行

鮮語科　英語科　各級補缺募集　京城西大門外　京城清年會

貸家　場所三坂通り　詳細面談（姓名在社）

拙者儀大正八年十月廿九日ヨリ印鑑ヲ變更シ且其以前ノ印ヲ使用スルモノハ無効ト可致候間此段及廣告候也　京城玉[illegible]　李[illegible]

店員二名入用　廿五歲以上有る者妻帶者身元保證人（電話）確實なる者　京城本町三　佐藤金物店

▲至急店員募集　廿歲以上ノ男子　經驗を有し多少英語を解する者（電話五四九）京城南大門通三　上田寫眞機店

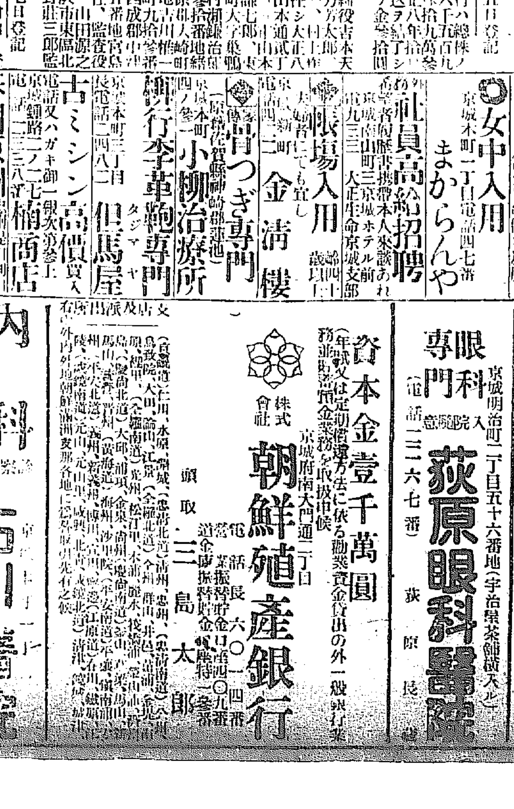
蒙宮內省御用命
リノリウムに優る補床材料
專賣特許　練革床
高石商會京城出張所
京城櫻井町一ノ八

熊平洋家具は優秀との賞讃を受く
京城　熊平支店
電話長三六二
電話長一五四
振替京城二一三番

京城明治町二丁目五十六番地（宇治與茶舖横入ル）
眼科專門　荻原眼科醫院
電話長三六七番
荻原長

株式會社　朝鮮殖產銀行
京城府南大門通二丁目
資本金壹千萬圓
頭取　三島太郎

內科　胃腸病
石川醫院
電話一七九〇



戰後の劇務を處理する第一歩はパイン萬年筆の使用に始まる
優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり
發賣元　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

入院隨意
京城永樂町二丁目
酒井婦人病院
酒井一

拂曉戰より終了まで

夜襲、逆襲、襲擊、突擊 兩軍能く戰ひ能く守る

於永登浦 矢橋特派員

九芝里の陣地を占領せる西軍の一部の守備を九芝里の高地に殘し主力は夜半十二時航洞里より大井里に亘る線に退却したり東軍支隊長富塚大佐は敵情搜索の結果西軍の退却せるを知り二十九日午前二時、第三大隊を以て九芝里の高地に夜襲せしめ同高地を占領し續いて支隊の主力は同高地に到着し又西軍に對し敵情搜索地形偵察の結果愈々前進に決し霜を踏んで前進を續行し航洞里の線に達したる時西軍より猛烈なる逆襲を受け互に干戈を交へ茲に壯烈なる拂曉戰に接す天未だ白まず、時に午前六時なりき

東軍退却す 頑強に抵抗しつゝ

東軍は西軍の優勢なるに敵し得ず午前七時より退却の區署につき素砂の西端に至る迄戰鬪退却を爲し茲に步兵二中隊騎兵一中隊野砲兵中隊工兵小隊機關銃小隊を後衞とし砂村高地に向つて退却を開始したり然るに西軍の追急に依り止むを得ず素砂東方高地及び梧柳洞附近に於て頑強なる抵抗を試み加ふるに諸所の橋梁を破壞し爲めに西軍の砲兵をして其の腕を振ふの餘地なからしめかくて午前十時頃目的地に達し極力陣地の攻勢に努め以て增援部隊の來着を待てり即ち鐵道線路兩側及び本道兩側に亘り步兵三中隊を九芝里北方小丘端に步兵二中隊機關銃一小隊を配置し野砲兵中隊は永登浦監獄分監西側高地に其の陣地を占め吉里附近に位置せしめ旗旗を收めて西軍の來るを待てり

猛烈に射擊 西軍砲兵の大活動

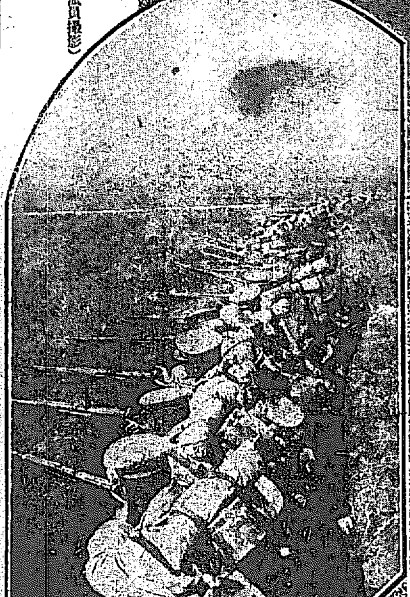
西軍は東軍の退却に移るや前進し騎兵小隊砲兵中隊工兵小隊を前衞とし鐵道を敵に尾して追擊前進したるも砲兵は素砂東方に於て橋梁を破壞せられたる爲め約一時間の前進を遲滯するの止むを得ざるに至れり而して工兵は極力砲兵の爲めに道路を改修したるを以て是が爲め砲兵は梧柳洞停車場東方高地に於て前衞に追急し九老二里西方水田中を退却せる敵の縱隊に向つて猛烈なる射擊を注集するに至れり、然るに午前十時半西軍の步兵は梧川の線に達する頃東軍の步兵約一二中隊は九老二里の高地に於て西軍の前進を妨害せり蓋し同地

忽如敵現る 辛うじて危地を脫す

此の情況を見るや西軍の前衞司令官西田少佐は分秒の猶豫を與ふるを許さずと躍然此の大部を以て此の敵を驅逐し同高地北端を占領し敵情を偵察しつゝ本隊の來るを待てり午前十時四十分西軍支隊長堀田大佐は悍馬に鞭打つて九老二里の高地に上り東軍が砂村の高地に陣地構築中なるを見其の工事の完成せざるに乘じ攻擊するを有利なりと判斷し本隊には九老里九老二里の高地に急進を命じ砲兵は本隊に續いて前進し同陣地附近に於て地偵察中疾忽として敵の騎兵中隊背後に現はれ砲兵に向つて襲擊す、砲兵は色を失ひ混亂せむとするに際し附近の步兵は是を援助し砲兵も亦零距離射擊を爲し辛うじて危機を脫するを得かくて援兵の陣地に進入し午前十一時二十分攻擊準備を完成す

掉尾の激戰 見物黑山を築く

午前十一時半頃西軍支隊長堀田大佐は全線に亘り攻擊前進を命じ各隊の運動を起すや東軍の砲兵も砲擊を開始す西軍の砲兵も之に應じ機關銃も亦射擊を始む。西軍步兵は困難なる水田を跋涉し前進する事約五百米突に達するや此時東軍は增加隊を招て全線に其豫備隊を增加し極力敵の前進の防禦を試み又遮蔽なる牧里高地北端の步兵及び機關銃隊は林端に進み西軍を側方より猛射す、茲に於いてか西軍は其の豫備隊を右翼に增加し益々前進を繼續し午前十一時四十五分東軍は來着せる增援大隊を合せ其主力步兵約六中隊は道路南側地區より攻勢に轉じ次いで全線皆等しく攻擊前進し彼我の銃砲聲は天地に轟き突擊の喊聲は見物の群衆をして手に汗を握らしめたり時に正午。漸く亂れて風出づ、此演習を見むとて群衆の殺到する事夥しく演習地附近小高き丘は是等の人々を以て更に黑山を築けり、午後一時半奧田統監の講評に次いで淨法寺師團長の講評ありて目出度く機動演習は終結を告げたり



機動演習畫報 (特派員撮影)
(上)西軍步兵突擊に移る
(下)塹壕に據れる東軍步兵

王世子の御婚儀

御服喪明けを俟つて 來春早々御擧行か

李王職 國分次官談

昨今王世子殿下の御婚儀に就て種々御噂があるやうであるが是に就て國分李王職次官は語る

王世子殿下の御婚儀は本年一月廿四日擧られる筈であつたので

準備萬端 は整つてゐたが圖らずも李太王殿下薨去の爲め延期さなり其儘何も手を著けてゐないが公式の御喪は一箇年であるから(朝鮮の舊習に依ると喪は三年であるが之れは內輪の事である)此の御喪が明け次第來春早々御婚儀が擧げられる事と確信してゐます、又王殿下の御思意も必ず斯うであらうと拜察してゐます、最近

梨本宮家 から御婚儀に就ては何の御話もないが過日梨本宮殿下御病氣の事を承はつて取敢ず御見舞の電報を奉上たが所、間もなく宮家から日一日さ御快癒に向はせられて居るから決して御心配なきやうこの御懇篤な御返電があつた兎も角私は內鮮融和の爲め御婚儀の一日も速かならん事を祈つて居ます王世子殿下は過般演習地に御出張

櫛風沐雨 の御生活にも至つて御壯健であられたが既に歸京せられ今日では聯隊の方で御精勵の趣である王殿下へは絕えず御音信があるので王殿下は非常に御悅びになつて居られます

梨本宮は流行性感冒 氣管肢炎を御併發

梨本宮殿下其後の御容態は二十七日午前山田博士拜診脈搏八十八御體溫三十八度三呼吸二十輕微の咽頭炎左肺に輕度の氣管肢炎御併發御病名は流行性感冒なりと(大連特電)

府民の拜賀 差し許さる

京城府に於ては天長節當日拜賀式擧行に付一般府民は同日午前九時三十分より同十時卅分迄の間に隨意府廳に出頭拜賀せらるべし服裝はフロックコート若くは紋付羽織袴にして朝鮮人は敬意を失せざる程度の朝鮮服にて差支なし

女を騙して 酌婦に賣る

山口縣美禰郡伊佐村高瀨上百十八番地生れ當時住所不定野村猛敏(こゝは所々を徘徊したる揚句京城に流れ込み太平生命保險會社の外交員を爲し居りしが永續きせず本月十三日本町二丁目旭旅館の

帳場見習 ひさして同旅館に住み込み居る中同旅館下女長崎縣南高來郡森山村字土井三百三十八番地伊藤はる(二〇)に思を掛け度々艶書を送る中本月十六日自分は某貿易會社に入社する筈なるが同社は妻帶者に非ざれば給八十圓を給與する由なれば是非自分の妻になり呉れよと巧に說き付ければはるも承諾して同旅館を暇取り本町口入屋大正社に落ち着き居る中猛敏ははるに向ひ自分の叔父が

鑛山の爲 二百五十圓の必要あるこの依賴を受けたれば暫時猶豫へ與れよ叔父も明年四月には數萬圓の收入あれば其の御禮は乾度する筈だと說き出せば世事に馴れぬはるは欺かるゝは露知らず終に渡邊濟助の周旋にて櫻井町三丁目飲食店五木康の酌婦として二百圓にて住み込みたり然るに猛敏は右金を得てより諸所にて遊蕩し間もなく消費し盡したるより

又々惡計 を繞らし本町五丁目口入屋高島屋方に前同樣の手段にてはるを滿洲へ賣飛ばさんと依賴し居たるを本町署岸刑事が探知し二十一日猛敏を同署に引致取調べの結果右の事實判明したれば身柄は二十九日檢事局に送られたり

天然痘流行 一家三名罹病

市內大平通二丁目百一番地堀部靜子(二)は二十八日天然痘に罹り順化院に收容されたるが二十九日同保昇(三)同寅夫(六)も疑似天然痘と診定され順化院に收容されたり此際一般は速かに接種すべしミ

安東縣の火事 驛員慘死す

二十八日午後八時三十分安東縣六道溝韓時祥號燐寸軸工場軸木倉庫より出火したるが各消防隊の盡力に依り同九時二十分鎭火せり出火さ見るや直ちに馳け付けたる安東驛員渡邊福平(三二)は高壓電線の燒け落ちたるに觸れ即死したり損害約七千圓なり原因は不明なるも放火ならん(安東縣特電)

兩地の檢疫 月末限撤廢

域內の虎疫著しく減退し最早蔓延の虞なきに至りたる開城郡に於ける停留所開設したる開城驛に於ける汽車檢疫及び釜山に於ける海港檢疫は本月三十一日限り撤廢但

豫言者講演會

來る二日夜日出小學校に於て

豫言者宮崎虎之助氏の入城を機とし來る十一月二日午後六時より市內日の出小學校に於て左の通り講演會を開催すべき筈なれば奮つて來聽あらむ事を。

演題

金剛山探勝所感 宮崎照子孃(二〇)
現今の婦人問題 平岡喜智子女史
勞働問題及びデモクラシーの批判
新宗教を宣す 宮崎虎之助君

神生書會 尙宮崎氏は歐米漫遊の資に充つる爲め右講演會と同時に得意の神生書會をも催し洽く來聽者の需めに應ずる筈

主催 柳川人會
後援 京城日報社

國旗掲揚問題

菊花節を目前に控へて 鮮人有識者の意見を徵す

國旗掲揚は鮮人たるもの不臣民の一本分に背くものであると同時に國家の大不祥事である、天長の佳節を目前に控へて鮮人有識者は是を如何に見る、乞ふ其の辟を聞け。

紙旗でも好い 陸軍參將 趙性根氏

國家の大祭日に國民が國旗を掲揚するのは當然な事である過般來脅迫や煽動の爲國旗を樹てないものもあつたが今日は官憲の懇諭もあつたから天長節祝日には擧つて掲揚する事と思ふ兎も角國旗掲揚は國民の當然爲すべきものである。旗の無いものは紙旗でも好いから祝意を表すべきである

布告を遵らん 漢城銀行專務 韓相龍氏

今春騷擾があつて以來鮮人の思想界には多少の動搖を生じ疑惑に懷疑の淵に沈んで居る多數の鮮人は國祭日にも其他の祝典にも國旗さへ掲揚せぬやうな狀態にあつたが今や新總督の施政方針も一般に徹底し官憲も能く其趣旨に基いて指導して居るから迷へる大部分の鮮民も餘程覺醒しつゝあるやうである、從つて今度の天長節祝日には府尹から府洞總代に對して布告した所に多分京城在住の鮮人は大部分が國旗を掲げて祝意を表するであらう

關係者へ勸誘 商業會議所議員 金漢然氏

今度國旗掲揚問題に對しては彼是多く言ふ程の事はありません兎に角國旗を掲揚する事は國民たる者の義務であるのは誰でも否定する者はありますまい、今度も京城府尹から懇切な諭旨があつたので私は市內にある三十餘軒の私の關係ある靴店に對して來る三十一日の天長節には必ず國旗を掲揚する事を忘れてはならぬこ通告しました程で一般の鮮民は其れを厭うて居るのではないから過去の不都合は忘れて欲しいと思つて居ります、天長節祝日には鮮人家屋の軒に必ず旭の國旗が飜るに違ひありません

成行に任せよ 辯護士 李升雨氏

今春の騷擾以來鮮人の大多數は殆んど國旗を掲揚しなかつた之れが爲めに當局では之を掲揚するよう强制的に命じて居るやうであるが强制的に國旗を掲揚させるのは眞に無意味な行爲である、强制的に掲揚をするのは實際形式的で微妙なる精神的の運動ではない甚だ無意味な事だからよりは鮮人自ら自發的に掲揚するやう一層根本に向つて指導の方法を講じて貰ひたい者である、言ふ迄もなく國旗を掲揚するのは國民たる義務ではあるが赤心から之を掲揚せぬならば假令數百萬旒の國旗を掲げたとて夫れが果して何ならう寧ろ外面だけの虛飾ならぬ方が增しである兎に角問題は自發的の解決に俟つ可きで餘り干涉せずに自然の趨勢に任せるのが適當であらうと思ふ

全南の虎疫 下火に向ふ

全羅南道內に於る虎疫は前三日前より氣勢頓に挫き今や新患者の發生少く漸次下火に向ひつゝあり防疫は愈々嚴重を極め居れば日ならず終熄すべし初發以來二十八日朝迄の患者は總計二百八十八名なり(光州)

消防演習と編成

京城府消防隊にては既報の如く三十一日天長節を卜し午前九時集合正午解散の豫定にて晴雨に拘はらず秋季消防點檢演習を擧行する筈なるが編成中隊左の如し
第一中隊常備消防隊△第二中隊京城消防隊△第三中隊龍山消防隊△第四中隊新龍山消防隊△第五中隊麻浦消防隊△第六中隊桃花洞消防隊

投身者蘇生 住所不定

嚴口變(二六)は二十六日午後十時頃京城府嵐洞百三十七番地李季範方共同井戶に投身し居れるを水汲女が發見して最寄り派出所に急報したれば直ちに官憲馳せ付け郵便局員等の援助を得て嚴を井戶より引揚げると共に鍾路署に通報せしかば同署より係り官が森醫院出張應急手當を施したる結果的一時間計りにて漸く蘇生したり原因は同署にて取調中なるが多分發作的精神に異狀を來たしたるものなるべしと嚴の身柄は親戚たる公平洞六十五番地金濟洙に引渡されたり

學校の大騷 南大門小

學校では廿八日午後三時半頃鐘で感冒で欠席中の小使小用權七郎が腸チブスの疑似症狀が見はれたので取敢ず順化院に入院させ小使部屋其他の消毒を行ひ病人の經過を檢べたが傳染性の病氣でもないらしいので廿九日から平常の通り開校する事になり校長以下愁眉を開いた由

觀世流大會 京城觀世流

松濤會にては來る十一月二日(日曜)午前正十時より本町花月樓に於て秋季大會開催の筈なるが番組左の如し
▲素謠▲龍田▲忠度▲松風▲藤戶▲葵上▲番外▲定家▲雛子▲班女▲蘆刈▲羽衣▲杜若▲巴▲仕舞▲遊行柳▲小督▲大江山▲女郎花▲岩舟▲吾紹▲玉葛▲鞍馬天狗▲道明寺▲網之段▲湯谷▲船弁慶▲輪▲花筐▲笠之段▲籠太鼓▲熊坂▲附祝言

運動界

刮目すべき庭球戰 龍山軍對光州軍

龍山庭球軍の光州遠征は來る卅一日午前十時龍山發車同夜九時光州に到着すべく對戰は翌一日午後及び二日午前二回にして會場は普通學校コートなり彼我兩軍の選手顏觸れ左の如し(光州)

龍山軍
(中村)(大島)(矢野)(高島)
(君塚)(宮田)(內藤)(太田)
(中川)(織部)(永田)
(若泉)(加藤)(內藤)

光州軍(補缺共)
(谷岡)(島村)(安田)(河野)
(川勝)(飯島)(三浦)(舟木)
(細田)(池上)(金鍾)(金希)
(金森田)(朴泰)(金野)(金)

日本一 色香味

三絕の評ある 銚子の銘醬油

△三百年前の明眼家 今より三百年の昔、千代田の城新に開けし世は德川の流れ清く榮ゆる江戶の町々が日に增し繁榮に赴くを見て、將來此の大江戶に醬油を供給せんこ遠大の見込を立て紀州有田の故郷を辭して、氣候風土最も醬油の醸造に適せる銚子の地を卜して創めた炯眼なる醸造家がある。是れ即ち今日日本一の醬油の本場たる銚子町に第一の名門たるヤマサ醬油醸造元濱口家の祖先であつて聞ゆる… [illegible] …風味と云ひ、三つとも得も云はれぬ良い醬油が大規模に依つて出來るやうになり、昔江戶の通人が初松魚と共に舌鼓を打つたヤマサ醬油よりも、更に一層風味のよいヤマサ醬油を、今日吾人の口にするを得るに至つたのは實に當主濱口儀兵衞氏の熱心努力の賜である。尙は銚子には昔からヤマサ醬油とヒゲタ醬油とがあつたが、最近濱口家にては一大發展をなして、此のヒゲタ醬油の醸造業をも讓り受け其醸造法に一層の改善を加へ著しく品位を高めたのであるが、此のヒゲタ醬油は色合が濃厚で且つ甘味に富むのが其特徵である、此の如くにしてヤマサ醬油とヒゲタ醬油は日本內國を始め、新領土各地、遠くは英、米、佛、伊、濠洲、支那、布哇、浦鹽迄輸出多額に上るの盛況である

△三絕の特長 ヤマサ醬油らヒゲタ醬油の醸造地たる銚子は天惠好適の… [illegible] …に於て時に原料を精選され三百年の經驗と最新化學とを合致應用し完全なる器械を設備し堅實なる方針に依り適當の時日を費やして醸造されたものであるから、其の色、香、味三絕の特長を有し夙に宮內省御用の光榮を荷ひ又日本及び海外各國に於ける博覽會共進會には一等有功賞、又は金牌を受領すること數知れず、況んや江湖の歡迎日々盛んなるも宜なりと云ふべしである

胃腸藥 タラコン
各藥店にあり

◇村井弦齋先生(食道樂)發見のタラコンが胃腸病に卓效あることは世間既に知る所であつて之を連用すれば弛緩した胃腸の筋を引締め其活動を旺盛にし胃液の分泌を整正して消化を好くし腸の蠕動吸收を順調にして便通を整へ從來不治の難病とされて居つた胃癌、胃潰瘍、胃擴張、胃酸過多症を始め胃腸の諸疾患やあらゆる胃腸病に靈驗あることは既に幾千の重症者を救ひ得たる事實に依つて證明せられて居ますが更に今般東京

◇帝國醫科大學 教室並に同大學病院藥局にかゝる責任ある專門大家のタラコンに就て研究せられた記錄に徵すれば本劑は勿論慢性の胃腸病を根治し食慾を進め消化を補け健康を增進することを確實で即ち學理上にも臨床上にも特效を認められた胃腸劑は古今東西で其比を見ず藥學史上に特筆大書すべき新劑であつて斯界の深く光榮とする處であります

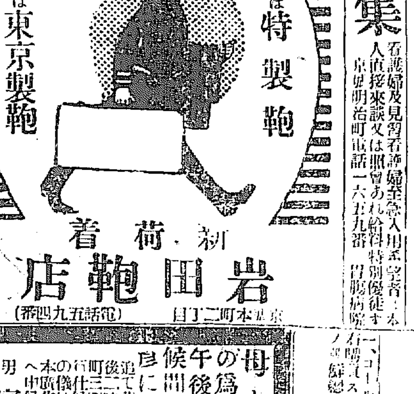
●藥價散劑各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢・五圓
●送料十二錢・海外四十五錢

本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 (電話小石川一〇〇五)(振替東京一〇〇三七)

ぜんそく湯 藥價一圓廿錢・二圓五十錢・五圓 送料十二錢・海外四十五錢
喘息の特效劑にして而も何等の副作用なく如何なる重症にも靈驗あり他に比類なき妙劑です (各藥店にあり)

メリヤス 帽子類 割引大賣出し
十月卅一日 十一月一日 十一月二日 三日間
京城日報社代理部

募集 看護婦及見習看護婦至急入用 本人直接來談又は照會あれば給料特別優遇す 京城明治町電話一六五九番 日勝病院



新荷着 岩田鞄店 京城本町二丁目 (電話九五四番)

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町二丁目 電話長五八番 振替貯金京城一一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取引先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之

流行 冬衣
織元から買へば三割も安い
丸登織物會社 一年額五千萬圓を產して本邦唯一の織元 ◎特賣品目 [illegible]

栃木縣足利町 丸登足利織物會社
弊社の製品は柄合の新しき優美なるを特色とし原料及び工場の設備と多數の手を經ずして織元より直ちに提供する爲め價格は非常に安く… [illegible]

靜岡縣人會
時局の爲め會合を差控へ居候處既に平和克復致候に付… 來る十一月二日午後六時より… 會費(五圓)… 京城本町二丁目京城銀行內 峯尾音三郎

一、コールター 右購入ス詳細ハ十月三十日官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

母トヨ儀急病の爲め二十九日午後二時死去致候間此段辱知諸彦に謹告候也
追て葬儀は來る三十一日午後三時… [illegible]
男 宮崎源吉
親戚 宮野龜一
總代 植山國…
友人總代 五味安太郎 村上幸次郎 椎木宇之助 矢澤近次郎 小川勝平 佐藤牧太郎

夜の蜘蛛

「十一」　江見水蔭 作　近藤紫雲 畫

然う疑はれても仕様が無い。自動車から一歩も踏出さないのに、帶の間に挾んだ紙入が紛失する譯が無いのである。同乘者は子爵の令息で、此人が惡戯をしたので無いとすれば、小糸自身で隱したのだ。彌次が邪推するのは道理である。

『あら、そんな水臭い妾ぢやァ無いわよ。隱した處で仕様が無いぢやァ無いの。一人で隱し込んで如何するものかね。金は二人で遣つてこそ面白いのよ』と小糸は躍起と成つて辯解した。

『こうだか、それが分かるもんか。浮氣ッぽいカルメン小糸だ、他の男と樂む爲めに、こんな處へ隱し込んでるか分かつたもんぢやァ無いね』と彌次は肯かぬ。

『口惜しいわ。妾、そんなに疑はれるなら、自動車の中で裸體に成つて見せるわ。さァ何處からでも調べて見てお呉れ』

『そんなに仕なくッても好いのだが……本統にお前、隱してるいんだな』

『隱さない！隱さない！』

『好し。それでは如何したッて、あの牧島子爵の馬鹿殿が惡戯をしたに違ひ無いよ』

『或はだね。中に大金の有る事なんか無論知らなくッて……妾の持物だと思つて、密と持つて行つたのかも知れないわ。能くあの位の年頃の人達が、樂屋へ遊びに來ては、紅の附けた手巾や、白粉刷毛や、そんな物を默つて持つて行つて、友達に見せて誇るのだから……紙入の中から妾の名刺か寫眞でも引出して、それを見せびらかすツモリで拔き取つたのかも知れないわ』

『好し。是から子爵邸へ自動車で乘込んで行つて、令息を詮犯で引けさせる……さ、まァ、脅かして、取られた金の五六倍位は是非取上げて遣らなくッちやァ成らねえ。此奴は面白く成つて來たぞ。さァ直ぐ出掛やうぜ』

『お待ちよ。今から直ぐ出掛よ うたッて、未だ電車で歸るのだから、あの方、お屋敷へ著いて居るないわ』

『構ふもんか。先廻りをしてやるんだ』

『然うは行かないから、斯うおし。先づ妾達は歸つて、お前だッて運轉手の扮裝では强請に嵌らないから、立派な紳士に成のよ。然うして人に自動車を動かさして、お前と妾と乘つて行かうぢやァ無いの』

『それも然うだなァ』

斯う話合つてゐる處を、何者か、附近で遊んでゐた子供達が覗いて見るので、いよ〳〵此處には留まつてゐられなかつた。

急いで有樂町の自動車商會まで歸つて、自動車を返し、運轉手服を脫いで、私服に戻つた彌次は、日比谷から取つた外套が、ダブ〳〵するのも我慢して引掛けた。

外に待つてゐた小糸と連立つて、數寄屋橋外まで行つた。

『牧島子爵の屋敷は何處だつたか確か築地の筈だが……』

『電話帳を見ると番地が出てゐる』

『序に馬鹿殿は歸つてゐるか、ゐないか、聽いて見よう。ゐない處へ乘込んでも詰らない』

『然うね。それが好いわ。然し女の聲で掛けるより、男の方が好いから、お前さん掛合つてお呉れな』

『それは引受けた』

早や夕暮と成つた。自動電話の中へ彌次が入つて先づ帳面を繰出した。

外には小糸が立つて待つた。通行人は其燈下に小糸の美しい姿を見て、十人が十人まで振向いて行く。中には『今晩は……』なぞわざ〳〵聲を掛けて行くのもある。早くしないとカフエーで馴染の客にでも見られては、體が惡い。と、氣がイラ〳〵。

寫眞　京城旭町一丁目　河原寫眞館　電話一九八一番

人參キャラメル
ミルクチョコレート

日報俳壇

■木兎吟社詠草（安東縣）

○蔓曳けば物皆生きぬ秋の風　倭松
○水蜘蛛の草に這ひけり秋の風　島翠
○夕陽殘る黍の葉擦れや秋の風
○鞍ごりて馬寒むげなり秋の風　如風
○秋風に草の實零る籬落かな　志
○簪外して逃げゆく馬や秋の風
○新割れる禪寺の僧や秋の風　扇倒
○庭石に蝶の骸や秋の風　外春
○菩提樹下に狩む僧や秋の風　竹霜
○支那馬車に黃な包米や秋の風　月如
○竹伐れば鳥の巢落ちぬ秋の風　洲鷗
○碧の空の深さや秋の風　子旅歩
○晩鐘に一山暮れて秋の風　堂倚
○忘れ咲く草花ありぬ秋の風　柳野
○秋風の沼沿ひ溫泉町遠く來て　人杜
○うら枯れて實らぬ黍や秋の風　山靜
○よろこび歸り來し驛人や秋の風

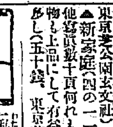
■春川昭陽吟社詠草（江原）

○蜻蛉釣る兒に燃ゆる庭の鷄頭哉　女津美
○嫁ぎ來て米研ぎ馴れぬ夕砧　二
○風に流る蜻蛉に丘の斜陽哉
○養魚池の空を織る數の蜻蛉哉　若者
○弱き陽射しに光る蜻蛉の翅哉
○朝露に今生れたる蜻蛉かな　女
○蜻蛉の影眩めき日傘かな　洲花

新刊紹介

▲白珊瑚（渡邊假名著）波瀾[illegible]なる假名氏の創作にして紙品高く而[illegible]かゞ興味の油然たる快著なり（二冊）東京芝公園玄文社

▲新家庭（四の一一）口給表紙共他寫眞數十頁何れも善美を盡し讀み物も上品にして有益多趣味なる記事多し（五十錢）東京芝公園玄文社



◎私は脚氣におかされて大變困つて居ります良い療法はありませんでせうか御教へによつて御存じの御方は失禮ながら此の紙上で御聞かせ下さい（脚氣生）▲近所法香生へ答ふ足下の御親切に對し感謝の意を表すると共に足下の誤解を正さんと欲す先代の主人より店員の待遇は益々改善しつゝあるにあらずや例へば定休日の如き積立金制度の如き先代の行ひしところなりや？給料は物價騰貴に相應する增給をしつゝあるに非ずや？近日不都合の行爲ありたる店員を解雇したり彼は近所を徘徊して解雇の報に惡口し歩くと聞く足下も惡口を聞きし一人ならん店員と主人は有機的關係を有するにあらずや？何ぞ牛馬の如く薄遇せん、ましてデモクラシー及び勞働問題にやかましき現今に於てなや。やめよ店の半面的觀察を住所氏名を明記して投ぜよ、しからば紙上に論陣を張らん（二代目主人）▲午後七時半より午後十時半まで會計庶務に使役下さる篤志の方はありませんか尚書類の淨書等頭を要せざる事なれば幸甚の至りに存じます（夜の宿）▲電話五四三番なれば一二匹捨てもよろしい御名か下さい（同情生）▲成る可く假名お答へ致しますお手紙に[illegible]使はぬ樣に願ひます[illegible]へ申す同情生の意見は尤もと存じます[illegible]致しました全く御申越の通りで御座いますので何とか致さねばならぬと考へてゐますので[illegible]に此處牛[illegible]

將棋新手合　其六

（於京城若草町九十[illegible]）
角落　下手△京城　溝呂木光治（七段）
　　　上手▲京城　飛角[illegible]（三段）
（御[illegible]手合の忠）

[illegible]

總評　總べて大駒落の對局は下手方は除々に駒組み整へて後ちに攻勢に轉ずるの大意をなすに係わらず本局は下手方最初より攻撃手段を招致せり然れども三桂飛び以下良手を連發して敵を巧撃し漸々心臓を寒からしめたるも上手よりも巧に防れ亡て最初の敗戰不可なりしが因なし駒切れさなり遂に敗られたり

溝呂木六段講評（ナシ）

大國民の商業教育

長足の進步

冒險の商人

[illegible]

實驗的研究に依て効力を確認せられたる　ミツワ人參錠（みつわにんじんぢやう）

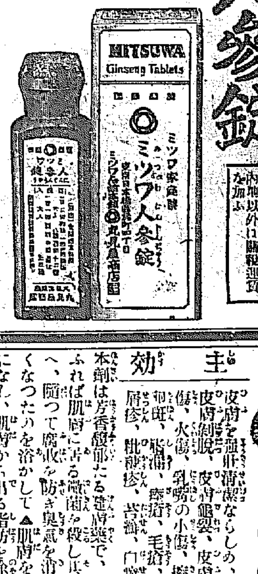
定價　百錠入金五拾錢　五百錠入金貳圓　內地以外は關稅運賃を加ふ

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、發育不良、精力減退

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.　100 tablets ¥ .50　500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

ミツワ化學研究所に於ては、豐富なる學識と精密なる系統的研究に依り、漢藥人參を系統的に研究し、鎮靜、催眠、利尿、興奮、强壯等の諸作用を呈することを證明せり、ミツワ人參錠は該研究を基礎とし合理的に精製せるものにして神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー等の疾患に發現する諸症候、卽ち精神興奮、精神異常、意志薄弱、記憶力減退、睡眠不安、消化不良、手足厥冷、讀書不能等に對して偉効を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、心悸亢進、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之が爲めに腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫其他の苦惱を除き、又諸種の疾患に因る貧血症に應用すれば、榮養不良を回復し精力減退並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし元氣を旺盛ならしめ老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。



ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內[illegible]
一、腦が[illegible]する人
一、眼が疲れ易い人
一、逆上せて茫乎となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、覺めて困い夢を見たりして[illegible]
一、[illegible]の事が氣に[illegible]ける人
一、何事にも[illegible]し易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の[illegible]する人
一、何事も悲觀して厭世的に[illegible]
一、物事を深く考へる事の出來ない人
一、物事の理非判斷の出來ない人
一、記憶の不良い人
一、雜念纏はりに起り注意の集中の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、腦病で悲觀する人
一、腎臟病に苦む人
一、產前產後又病後の衰弱の[illegible]
一、防ぎたい人
一、精力を强くしたい人

實驗的研究に依て効力を確認せられたる　ミツワ複方人參錠（みつわふくはうにんじんぢやう）

定價　百錠入金七拾錢　五百錠入金參圓　內地以外は關稅運賃を加ふ

主効　動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心囊炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、發育不良、精力減退、老衰

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS.　100 tablets ¥ .70　500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

本劑はミツワ化學研究所に於て實驗的に研究せる人參を主藥とし、之に沃度及臭素劑を配合せるものにして、人參は鎮靜、催眠、利尿、興奮、强壯等の諸作用を具へ、沃度劑は變質作用を呈し、病的產物の吸收並に排泄を促し、健全なる細胞を新生せしめ、且血管壁に於ける石灰沈着を防ぎ、血液の粘度減少及血管の擴大を誘起し、臭素劑は鎮靜作用を有し、中樞神經系に於ける知覺並運動裝置の興奮性を下降せしむるが故に、三者相俟つて神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血をも治し得べく、神經性心悸亢進に偉効を現はし、動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及諸種の心臟疾患に卓効を擧げ、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫等を除き、營養不良並に貧血の諸徵を回復し、尚老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著効を奏す。

ミツワ複方人參錠適應諸症候

一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部の緊められる樣な人
一、心臟の苦しい人
一、心臟部の痛い人
一、心臟に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸內の苦しい人
一、中風に罹り易い人
一、半身不隨の人
一、卒中を豫防したい人
一、動脈の硬くなつて居る人
一、手足の冷ゆる人
一、水腫のある人
一、身體の倦怠い人
一、筋肉の萎縮んで居る人
一、皮膚の弛むで居る人
一、顏色の若くて居る人
一、頭痛に悩む人
一、眩暈に苦む人
一、時々氣を失ふ人
一、元氣良く活動したい人
一、延命長壽を願ふ人
一、神經衰弱の人
一、ヒステリーの人
以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹼本舖　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥　ミツワ雪の雫（みつわゆきのしづく）

定價　金四拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

主効　皮膚を强壯清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚皸裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、鱗屑疹、肌膚疹、苔癬、白癬に奏効す

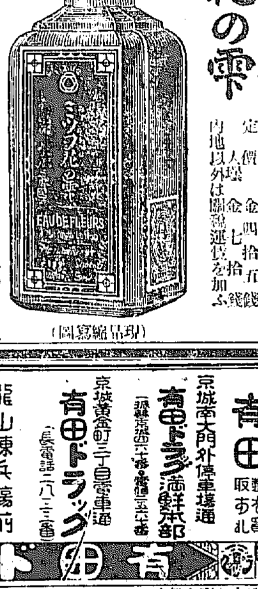
本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に活る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚硬くなつたのを溶かして▲肌膚を柔軟に滑潤になし、肌膚から出る脂肪を除いて清潔になし、肌膚を緊縮して緻密になし卽ち肌理を細かにし、肌膚の亂行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し肌膚を包み攝つて外から來る刺戟を緩和し、肌膚の乾燥を防ぎ、皸裂や瘡などを防ぎ、微菌や毒物の入込むのを止め、肌膚の營養を旺盛にして健全なる肌膚の新しく出來ることを促すから前に擧げてある諸種の皮膚病に良く效き▲肌膚を强壯清潔にするのであります。又▲白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹼で洗つてから湯水で輕く拭つて乾いたのを[illegible]ふやうに輕く拭き取りそれから白粉を塗ることのりものびもよく生々とした化粧が出來る肌膚になります

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる肌着香水オー・ド・フラール　ミツワ花の雫（みつわはなのしづく）

定價　大壜金四拾五錢　小壜金七拾錢（？）　內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の家庭用香水は徒らに强烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、ミツワ花の雫は人をを魅するが如き溫雅の芳香を有し、汚點を殘す憂ひなく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盤浴槽に用ふれば、清涼の感を得ること本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり



（現品縮寫圖）

毛髮の營養料衞生香水ヘーヤ・ローション　ミツワ月の雫（みつわつきのしづく）

定價　金五拾錢　大壜金八拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

優良なる品質を具へし、毛髮の衞生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後此ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得毛髮の發育を助け毛髮を害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫け毛及び雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衞生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり

（現品縮寫圖）

贅澤で經濟で而して最も優良なハンカチーフ用　三百番香水（さんびやくばんかうすゐ）

定價　各種一均　小壜入……金五拾錢　中壜入……金壹圓五拾錢　大壜入……金貳圓五拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

種類
ヴァイオレット　すみれ
ローズ　ばら
リリー　ゆり
ミュゲット　花の名
ムス　サ　花の名
ブーケー　花ばた

三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つものと、香は人によつて嗜好が異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一瓶毎に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一時普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價な物になる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なるものになつてゐる

請合藥　りん病　ばい毒
[illegible]
◎淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅內服藥とし兵藥學上最有効と確定し等にて當局配劑せる高貴藥たるを保証す若し前述の證言に違ふ事を發見せる時は
獸醫科大學病院
分析料百圓進呈
◎あらゆる治療をすむ効かき患者は兎に角一度來談あれ
にせ物あり
有田　製を買あれ
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ滿鮮本部（振替京城六〇〇番・電話五六八番）
京城黃金町三丁目電車通　有田ドラッグ（長電話二八三番）
龍山練兵場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤櫻町十二番地
仁川宮町二丁目
大邱○○町停車場前
鎭南浦三和町
開城南本町二八
晉州大安洞
大連岩代町
全國の都市に支店あり
にせが出來るヨ
東京日本橋通四　大阪心齋橋筋本町
有田ドラッグ

五光商會　汽船廣告

第三吉光丸　元山、西湖、城津、清津行　十月　日釜山發
第三吉光丸　門司、宇品、神戶、大阪行　十月　日釜山發
元山　大池回漕部（電話一二）　同　店

日本郵船仁川出帆

大連　太沽　牛莊行
濟州丸　十二月廿六日正午出帆
高砂丸　十二月七日正午出帆
營口丸　十一月　日正午出帆
都合に依り時間變更することあり
本船出港前迄の税關手續の送迎乘客の手荷物の取扱を致し候
仁川海岸町一丁目　電話八十番　郵船出張所

尼崎汽船仁川出帆

群山木浦下ノ關大阪行
赤城丸　十月　日後四時
一心丸　十月　日後四時
神代丸　十月　日後四時
秀吉丸　十月　日後四時
君代丸　十月　日後四時
大有丸　十月　日後四時
印客斷行　二等船客無し
仁川海岸町一丁目　電話二五九番　高杉回漕部

大阪商船出帆

（仁川出帆）
×木浦大阪行
×信濃川丸　十月　日正午出
群山大阪行
×安東丸　十月　日正午出
△櫻城丸　十月　日正午出
（元山出帆）
青津行
安平丸　十月　日後九時出
門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　十月廿九日後十二時
（天津出帆）
上海、基隆、打狗行
湖北丸　十一月五日
基隆丸　十月　日[illegible]
內地各港寄航
歐洲行　一年四回　北米行　每月
南米行　一年四回　豪州行　每月
[illegible]
御注意　外國航路船客は[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店　電話[illegible]

共同汽船仁川出帆

▲奏皇島行
第二共同九十月　日午後入港
▲青島直行
第十一共同丸　十一月　日正午出帆
第十六共同丸　十一月廿八日午前出帆
大連直行
第二共丸　十一月廿三日午後入港
大連にて奉天行接續
朝鮮鐵道主要驛にて何等の[illegible]
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町[illegible]
元山代理店　[illegible]
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆

[illegible]
▲鎭南浦行
越後丸　十月　日
平安丸　十月　日
京畿丸　十月　日
越後丸　十月　日
▲元山城津行
京畿丸　十月　日
▲大阪行
[illegible]
▲濟州島行
[illegible]
▲木浦行
[illegible]
本社　京城南大門通
其他各寄港地に代理店あり